



**Avaya Extension to Cellular**  
ユーザーガイド  
Avaya Aura<sup>TM</sup> Communication Manager  
リリース 6.0

210-100-700 JA  
第 14 版  
2010 年 6 月

© 2010 Avaya Inc.

本書の内容は著作権法上の保護を受けております。著者、発行者の承諾を得ず、無断で複写、複製をすることは禁じられております。

## 注意

本文書に記載した情報は、制作の時点で完全かつ正確であるよう最大の注意が払われていますが、Avaya は内容の誤りに関していかなる責任も負わないものとし、Avaya は本文書の記載情報を変更および訂正する権利を有し、またこの変更および訂正についてはいかなる人物または組織に対しても事前に通知する義務を負いません。

## 本書に関する免責

Avaya は、Avaya 以外によって行われた本文書原本に対する変更、追加、削除に対して、一切責任を負いません。

エンドユーザーは、自身で行った本文書への修正または追加、削除から生じる、もしくはそれに関連するいかなる申し立てまたは訴訟、請求、判決に対して、Avaya およびその代理人、従業員が免責され、責任を負わないことに同意するものとします。

## リンクに関する免責

本サイト内の参照リンク先の Web サイトまたは Avaya が提供する文書のコンテンツもしくは信頼性について、Avaya は責任を負わないものとします。また、Avaya はこれらのリンク先の Web サイトに掲載されたいかなる情報および記述、コンテンツの正確性についても責任を負わず、これらに記載または提示された製品あるいはサービス、情報について必ずしも保証するものではありません。Avaya はこれらのリンク先のページが常時利用できることを保証しておらず、またそのページの可用性を管理するものではありません。

## 保証

本製品には Avaya の限定的保証が付いています。限定的保証の意味については、販売契約を参照してください。また Web サイト (<http://www.avaya.com/support>) では、Avaya のカスタマーおよびその他の関係者を対象に、Avaya の標準保証規約、およびこの製品の保証期間中に利用可能なサポート情報を掲載しています。米国およびカナダ以外の Avaya の認定再販業者から製品を購入した場合、製品に対する保証は Avaya ではなくその再販業者により提供される点にご注意ください。

## ライセンス

Avaya の Web サイト (<http://support.avaya.com/licenseinfo/>) に掲載されたソフトウェア使用許諾条項は、Avaya またはその認定再販業者との間で交わした商業協定に基づき、Avaya Inc. またはその関連会社、Avaya 認定再販業者 (該当する場合) から購入した Avaya のソフトウェアをダウンロードおよび/または使用、インストールするすべての人物に適用されます。書面による Avaya の同意がない限り、Avaya またはその関連会社、Avaya 認定再販業者以外の人物から入手したソフトウェアについてライセンスが拡張されることはありません。Avaya は、ライセンスなしでソフトウェアを使用もしくは販売を行った人物に対し法的措置を取る権利を有します。ソフトウェアをインストールまたはダウンロード、使用、もしくはこれらを行う行為を他者に認可した人物は、本人自身およびソフトウェアのインストールまたはダウンロード、使用の対象となる企業 (以下それぞれ「ユーザー」、「エンドユーザー」とする) を代表してこれらの契約条件に同意し、またユーザーと Avaya Inc. または該当する Avaya 関連会社 (以下「Avaya」) との間で拘束力のある契約を交わしたと見なされます。

Avaya はエンドユーザーに対して、以下に記載する各ライセンスの範囲内での使用を許諾します。エンドユーザーに提供される文書またはその他の資料で異なるライセンス数またはユニット数が指定されていない限り、本使用許諾で許可される規定のライセンス数とユニット数は 1 つです。「指定プロセッサ」とは、単一のスタンドアロン処理装置のことです。「サーバー」とは、複数のユーザーが利用するソフトウェアアプリケーションをホストする指定プロセッサのことです。「ソフトウェア」とは、スタンドアロン製品またはハードウェアにインストールされている製品として、Avaya が使用を許諾してエンドユーザーが利用する、オブジェクトコードのコンピュータプログラムのことです。「ハードウェア」とは、Avaya が販売してエンドユーザーが利用する、標準のハードウェア製品のことです。

## ライセンスの種類

- 指定システム ライセンス (DS):  
エンドユーザーが各ソフトウェアをインストールして使用できるのは 1 台の指定プロセッサのみです。ただし、エンドユーザーに提供されているマニュアルまたはその他の資料でプロセッサ数が別途指定されている場合は、この限りではありません。Avaya では種類、専用プロセッサが、シリアル番号、機能キー、場所または他の具体的指定事項により特定されること、または Avaya が特にこの目的のために確立した電子手段を使用してエンドユーザーから Avaya に提供されることを要求する場合があります。
- 同時使用ユーザー ライセンス (CU):  
ソフトウェアを使用しているユニットの数がその使用許諾数を超えない限り、エンドユーザーは、ソフトウェアを複数の指定プロセッサ、または 1 台以上のサーバーにインストールして使用できます。「ユニット」とは、Avaya が独自の判断でライセンス価格設定の基礎とする単位であり、このユニットには、エージェント、ポートまたはユーザー、個人名または職務名 (ウェブマスター、ヘルプデスクなど) での電子メールまたはボイス メール アカウント、あるいは、ソフトウェアで使用する管理データベースにおいて 1 人のユーザーがソフトウェアとインタフェースを取れるようにするディレクトリ

エントリなどがあります。ユニットは、識別された特定のサーバーにリンクすることができます。

## 特定ユーザー ライセンス (NU) :

- エンドユーザーは、(i) 許可された特定ユーザー (以下に定義) 1 人につき 1 台の指定プロセッサまたは指定サーバーにソフトウェアをインストールして使用でき、(ii) 複数の特定ユーザーのみがソフトウェアにアクセスして使用する場合に限り、1 台のサーバーにソフトウェアをインストールして使用できます。「特定ユーザー」とは、Avaya により本ソフトウェアのアクセスと使用を明示的に承認されたユーザーまたはデバイスをいいます。「特定ユーザー」は、Avaya が独自の判断で、ユーザー名、職務 (ウェブマスター、ヘルプデスクなど)、個人名または職務名での電子メールまたはボイス メール アカウント、あるいは、本ソフトウェアで使用する管理データベースにおいて 1 人のユーザーがソフトウェアとインタフェースを取れるようにするディレクトリ エントリなどにより指定することができます。
- シュリンクラップ ライセンス (SR):  
カスタマーは、ソフトウェアに付属するまたは適用される「シュリンクラップ」または「クリックスルー」ライセンス (以下「シュリンクラップ ライセンス」) といった使用許諾契約の契約条件に従い、ソフトウェアをインストールして使用することができます。(詳細情報については「サードパーティ コンポーネント」のセクションを参照してください。)

## 著作権

明示的に別途記載されている場合を除き、本サイトの掲載資料および Avaya が提供する文書、製品を使用してはなりません。コンテンツのセクションおよび配置、デザインを含め、本サイト内で Avaya が提供するすべての文書および製品は Avaya またはそのライセンサーが所有するものとし、またこれらはデータベース保護に関する独自の権利を含む著作権およびその他の知的財産法により保護されています。コードやソフトウェアを含め、いかなる形であってもコンテンツの全部もしくは一部を修正またはコピー、複製、再発行、アップロード、掲載、送信、配布してはなりません。書面による Avaya の同意なしで不正に複製および/または送信、流布、保存、使用する行為は、適用法の下で刑事または民事犯罪に該当する場合があります。

## サードパーティ コンポーネント

製品に含まれる特定のソフトウェア プログラムまたはその一部分に、サードパーティ契約に基づいて配布されたソフトウェア (以下「サードパーティ コンポーネント」) が含まれていることがあり、この契約には、本製品の特定部分についての使用権を拡大または制限する条項 (以下「サードパーティ条項」) が含まれている場合があります。配布された Linux OS ソースコード (Linux OS ソースコードを配布した製品) に関する情報について、またサードパーティ コンポーネントの著作権所有者や適用されるサードパーティ条項を特定するには、Avaya のサポート Web サイト (<http://support.avaya.com/Copyright>) をご覧ください。

## 不正使用の防止

「不正使用」とは、不正なユーザー (たとえば、従業員、代理店、下請け業者、または代理業者以外の方) がお客様のテレコミュニケーション システムを許可を受けずに使用することです。お客様のシステムに関する電話ハッカーによる不正使用のリスクにご注意ください。不正使用が行われると、お客様がお使いの電気通信サービスで多額な料金を請求される可能性があります。

## Avaya の不正救済措置

不正使用されている可能性があり、技術的なサポートが必要な場合は、米国テクニカル サービス センターの Toll Fraud Intervention ホットライン (+1-800-643-2353) までお問い合わせください。その他のサポートの電話番号については、次の Avaya サポートの Web サイトを参照してください。

<http://www.support.avaya.com/>

Avaya 製品のセキュリティ上の脆弱性と思われる事項については、Avaya まで電子メールでお知らせください。宛先は [securityalerts@avaya.com](mailto:securityalerts@avaya.com) です。

## 商標

Avaya® および Avaya Aura™ は、Avaya Inc. の商標です。

本サイトおよび Avaya が提供する文書・製品に提示された商標およびロゴ、サービス マーク (以下「マーク」) は、Avaya またはその関連会社、その他のサードパーティの登録もしくは未登録マークです。Avaya またはマークを所有するサードパーティの書面による事前の同意がない限り、そのマークを使用してはなりません。Avaya または当該サードパーティの書面による明示的な許可がない限り、本サイトおよび文書・製品に含まれる一切の内容は、マークに対するライセンスまたは権利の許諾としてみなされるものではありません。Avaya 以外のすべての商標は、所有各社の商標です。

## 文書のダウンロード

マニュアルの最新版に関しては、Avaya サポートの Web サイト

(<http://www.avaya.com/support>) を参照してください。

## Avaya サポートの連絡先

アバヤでは、問題の報告や製品のお問い合わせにご利用いただける電話サポートを行っています。米国国内でのサポート電話番号は 1-800-242-2121 です。米国外およびその他のサポートに関する電話番号については、Avaya サポート (<http://www.avaya.com/support>) を参照してください。

# 目次

はじめに	7
用語	7
Extension to Cellular について	7
Extension to Cellular の仕組み	8
本書について	9
関連文書	10
<b>第 1 章：イントロダクション</b>	<b>11</b>
概要	11
ユーザー アクセス コード	11
[Self Administration Feature] アクセス コードを使用する	12
Basic SAFE の使用	13
Enhanced SAFE へのアクセス	15
Enhanced SAFE を使った携帯電話のマッピング	15
Enhanced SAFE を使って off-pbx 電話機のステーションマッピング ページから携帯 電話番号を消去する	20
FNE を使って [Communication Manager] 機能にアクセスする	21
初めて [Extension to Cellular] を使用する	22
アクセス番号を使って [Extension to Cellular] 機能を有効化する	22
FAC を使って [Extension to Cellular] を有効化する、または [Extension to Cellular] を無 効化する	22
FNE を使って [Extension to Cellular] 機能を有効化/無効化する	24
<b>第 2 章：発信と着信</b>	<b>25</b>
概要	25
電話を受ける	25
着信	25
Confirmed Answer	25
発信者 ID	26
電話をかける	26
オフィス発信者 ID を送信して電話をかける	26
発信者 ID を送信せずに電話をかける	26
通話の管理	27
コール ウェイティング	27
携帯電話から オフィス電話機に切り替える	27
オフィス電話機から 携帯電話に切り替える	29
通話を制限する	30
FAC を使って [Conditional Call Extending] 機能を有効化/無効化する	31
FNE を使って [Conditional Call Extending] 機能を有効化/無効化する	33
FNE を使って [Conditional Call Extending] 用の COR を設定する	34

FAC を使って [Conditional Call Extending] 用の COR を設定する . . . . .	34
FNE を使って Dual-Mode アプリケーションの [Conditional Call Extending] 機能を有効化/ 無効化する . . . . .	36
FAC を使って Dual-Mode アプリケーションの [Conditional Call Extending] 機能を有効化/ 無効化する . . . . .	37
<b>第 3 章 : ボイスメール . . . . .</b>	<b>41</b>
概要 . . . . .	41
会社のボイスメールを使用してメッセージを受信する . . . . .	41
Extension to Cellular と会社のボイスメール システム . . . . .	42
セルラー ボイス メール回避機能 . . . . .	42
Unified Messenger for Microsoft Exchange の「Notify Me」 . . . . .	43
<b>第 4 章 : Extension to Cellular の設定または設定解除とセキュリティの管理 . . . . .</b>	<b>45</b>
概要 . . . . .	45
Extension to Cellular を設定する . . . . .	45
オフィスの電話の機能ボタンを使用して Extension to Cellular を設定する . . . . .	45
携帯電話の FNE を使用して Extension to Cellular を設定する . . . . .	46
機能特番を使用して Extension to Cellular を設定する . . . . .	47
リモートの電話を使用して Extension to Cellular を設定する . . . . .	47
Extension to Cellular の設定を解除する . . . . .	48
オフィスの電話機の機能ボタンを使用して Extension to Cellular の設定を解除する . . . . .	49
携帯電話で FNE を使用して Extension to Cellular の設定を解除する . . . . .	50
機能特番を使用して Extension to Cellular の設定を解除する . . . . .	50
リモートの電話機を使用して Extension to Cellular の設定を解除する . . . . .	51
Extension to Cellular のタイマー オプションを使用する . . . . .	52
Extension to Cellular が現在設定されている場合に、タイマーを開始する . . . . .	52
Extension to Cellular が現在解除されている場合に、タイマーを開始する . . . . .	53
セキュリティを管理する . . . . .	54
オフィスの電話ネットワークから内線セキュリティ コードを変更する . . . . .	54
内線セキュリティ コードをリモートで変更する . . . . .	55
Extension to Cellular コールから他者を排除する . . . . .	56
オフィスの電話機の 機能ボタンを使用して排他機能を有効にする . . . . .	56
携帯電話から 機能特番を使用して排他機能を有効にする . . . . .	57
オフィスの電話機の 機能ボタンを使用して排他機能を無効にする . . . . .	57
携帯電話から 機能特番を使用して排他機能を無効にする . . . . .	58
<b>第 5 章 : チェックポイントとトラブルシューティング . . . . .</b>	<b>59</b>
<b>付録 A : 機能名内線番号 . . . . .</b>	<b>65</b>
Active Appearance Call Select FNE . . . . .	65

Automatic Call Back Cancel FNE . . . . .	66
Call Unpark FNE. . . . .	66
Call Pickup Extended Group FNE . . . . .	66
Conditional Call Extend Enable FNE . . . . .	67
Conditional Call Extend Disable FNE . . . . .	67
Conference on Answer . . . . .	67
Conference Complete FNE . . . . .	68
Drop FNE . . . . .	68
Exclusion FNE. . . . .	69
Held Appearance Select FNE . . . . .	69
Idle Appearance Select FNE . . . . .	70
Off-PBX Call Enable FNE . . . . .	70
Off-PBX Call Disable FNE. . . . .	70
MCT (悪意呼追跡). . . . .	70
Priority Call FNE. . . . .	71
Recall FNE . . . . .	71
Send All Calls enable FNE . . . . .	72
Send All Calls disable FNE . . . . .	72
Transfer Complete FNE . . . . .	72
Transfer on Hang Up FNE. . . . .	73
Transfer to Voice Mail FNE . . . . .	73
Whisper Page Activation FNE. . . . .	74
コールパーク FNE . . . . .	74
コールピックアップグループ FNE. . . . .	74
指定コールピックアップ FNE . . . . .	75
自動コールバック. . . . .	75
直前にダイヤルした番号 FNE. . . . .	76
電話転送の無効化 . . . . .	76
発信者番号通知 FNE . . . . .	76
発信者番号非通知 FNE . . . . .	76
不応答転送 FNE. . . . .	77
不在転送 FNE . . . . .	77
<b>索引 . . . . .</b>	<b>79</b>
<b>Extension to Cellular ポケット リファレンス カード . . . . .</b>	<b>83</b>



# はじめに

自由なネットワーク コミュニケーションの世界へようこそ！ Avaya Extension to Cellular は、時間や場所にとらわれないアクティブなネットワーク ソリューションを提案します。オフィスの電話番号を通じた連絡が必要なときでも、携帯電話や無線電話での発着信が可能。外出先がオフィスに早変わりします。

---

## 用語

本文書で使用する用語の定義は以下のとおりです。

- 「Extension to Cellular」とは Avaya Communication Manager のリリース 2.0 以降に搭載された、携帯電話と連動してお使いいただく機能のことです。
- 「オフィス電話機」とは、オフィスでお使いのデスク フォンのように [Communication Manager] が直接管理する電話機のことです。
- 「携帯電話」とはセルラー電話または無線電話を指します。

注:

[Extension to Cellular] 機能は、どのような無線 / セルラー サービスとでも併用可能です。

---

## Extension to Cellular について

[Extension to Cellular] 機能を使うと、オフィス電話機への着信をお使いの携帯電話に転送できます。このため、時間や場所を問わずあらゆる状況でビジネス関連の電話に対応することが可能です。

[Extension to Cellular] は以下のようにビジネスに移動を伴う方に最適な機能です。

- 営業担当者
- 現地サービス スタッフ
- 不動産業者
- 医師
- 弁護士
- エンジニア
- オペレーション スタッフ
- コンサルタント

- ブローカー
- その他の携帯電話の専門家

自宅オフィス勤務のテレコミュタは、[Extension to Cellular] を使って相手に気付かれることなくオフィスから自宅へと切り替えることができます。

旅行中や出張中、またオフィス内でデスクを離れているときに着信があっても、[Extension to Cellular] なら携帯電話での応答が可能です。たった 1 つの番号で電話通信ネットワークを網羅でき、ビジネス上の緊急事態が発生しても迅速に対処できます。また、電話に応答できない場合でもボイス メール機能を使ってメッセージを受け取ることができます。また、携帯電話に転送する通話の種類を限定することも可能です。

[Extension to Cellular] は必要に応じて接続 / 切断でき、お使いの携帯電話は [Extension to Cellular] の接続状態に関わらずご使用いただけます。また、携帯電話宛での着信は通常の携帯電話番号 / サービス プロバイダを通して行われるため、通常どおり応答可能です。

---

## Extension to Cellular の仕組み

[Extension to Cellular] は、携帯電話をオフィス電話機の内線のひとつとして処理します。システム管理者を交え、ユーザーや会社ごとのニーズに適した [Extension to Cellular] 接続の設定方法を選択してください。

設定後は、以下のいずれかの方法で [Extension to Cellular] 機能を有効化 / 無効化することができます。

- [Extension to Cellular] 機能を有効化するためのアクセス番号にダイヤルします。
- 設定が完了したら、オフィス電話機の [Extension to Cellular] ボタンを押します。
- 設定が完了したら、携帯電話から [Off-PBX Call Enable] または [Off-PBX Call Disable] の番号にダイヤルします。

有効化が完了すると、お使いの携帯電話がオフィス電話機の内線となり、オフィス電話機宛での通話に対し携帯電話で応答できるようになります。

携帯電話で着信を受け取りたくない場合は、[Extension to Cellular] 機能を無効化してください。[Extension to Cellular] 機能を無効化した状態で着信が入ると、事前に設定されたカバレッジパスを通じてオフィス電話機につながります。

---

## 本書について

本書では、[Extension to Cellular] の機能と操作について説明します。

[第 1 章:「イントロダクション」](#)では、[Extension to Cellular] の利用開始に必要な情報、および初めて [Extension to Cellular] 機能を利用する際の有効化の手順について説明しています。

[第 2 章:「発信と着信」](#)では、[Extension to Cellular] とお持ちの携帯電話がどのように連動するか、また利用可能な機能について説明しています。

[第 3 章:「ボイスメール」](#)では、ボイス メール機能が [Extension to Cellular] とどのように連動するかについて説明しています。

[第 4 章:「Extension to Cellular の設定または設定解除とセキュリティの管理」](#)では、[Extension to Cellular] 機能の有効化と無効化、安全な接続の維持、セキュリティ コードの変更、オフィス電話機での会話を他者が傍聴できないようにするための操作について、それぞれの手順を説明しています。

[第 5 章:「チェックポイントとトラブルシューティング」](#)では、トラブルシューティングのためのヒント、また [Extension to Cellular] と携帯電話 / オフィス電話機の相互作用関係に関する一般的な質問への回答をご覧ください。

[付録 A:「機能名内線番号」](#)には、[Extension to Cellular] 機能で使用可能な FNE がリスト アップされています。

[Extension to Cellular ポケット リファレンス カード](#)には、[Extension to Cellular] の内線番号、機能特番 (FAC)、機能名内線番号 (FNE) を記録するためのカードが用意されています。記入後に切り取り、身近なところや携帯電話と一緒に保管しておいてください。

---

## 関連文書

- *Administering Avaya Aura™ Communication Manager Feature Description and Implementation.*
- *Administering Avaya Aura™ Communication Manager.*
- *Avaya Unified Messenger® Telephone User Interface Online Guide.*

これらの文書は、Web サイト (<http://www.avaya.com/support>) から入手可能です。

# 第 1 章 : イントロダクション

---

## 概要

初めて [Extension to Cellular] 通話を受ける前に、ニーズに合わせて [Extension to Cellular] 機能の設定を行います。主な事前設定タスクは担当のシステム管理者が行います。これには、入力情報に基づいてユーザー プロファイルを完成させる、また個人用の [Extension to Cellular] 接続を設定するという 2 つのタスクが含まれます。

システム管理者が以下の情報を提示します。

- 機能特番 (FAC)
  - [Extension to Cellular] の自己管理用 FAC
  - [Extension to Cellular] の有効化 / 無効化用 FAC
  - セキュリティ コードの変更用 FAC
- 携帯電話から Communication Manager 機能にアクセスするための機能名内線番号 (FNE) のリスト

---

## ユーザー アクセス コード

システム管理者があなたを [Extension to Cellular] のユーザーとして設定し、[Extension to Cellular] 機能の有効化に必要な情報 ( 次のセクションを参照 ) を提供します。

- 22 ページの[「初めて \[Extension to Cellular\] を使用する」](#)
- 45 ページの[「\[Extension to Cellular\] を設定する」](#)
- 48 ページの[「\[Extension to Cellular\] の設定を解除する」](#)
- 54 ページの[「セキュリティを管理する」](#)

システム管理者が以下の情報を提供します。

- [Extension to Cellular] 機能の有効化 / 無効化、またはステーションのセキュリティ コードの変更を行うためのアクセス番号
- ステーションのセキュリティ コード ( 必要に応じて変更可 ) このコードは以下のような場合に使用します。
  - 携帯電話またはオフィスの電話などから [Extension to Cellular] 機能を有効化 / 無効化する

- [Self Administration Feature] アクセスコードを使用して自分の携帯電話番号を追加 / 変更する
- ステーションのセキュリティコードを変更する
- 携帯電話からアクセスして各機能を有効化させるための 機能名内線番号のリスト

本書の最後のページには、この情報を記録して携帯するための参照用ポケットカードが用意されています。

---

## [Self Administration Feature] アクセスコードを使用する

[Self Administration Feature] アクセス (SAFE) コードを使うと、お持ちの電話機を使って [Extension to Cellular] 用の携帯電話番号を管理、変更することができます。また、このコードを使って **off-pbx 電話機のステーションマッピング** ページ上の現在の携帯電話番号を消去することもできます。

SAFE を使用する前に、システム管理者はオフィス電話機の内線番号を [Extension to Cellular] に設定しておく必要があります。携帯電話番号の設定に SAFE を使用した時点で、自動的に [Extension to Cellular] 機能が有効になります。

Communication Manager リリース 5.0 以降では Enhanced SAFE をご利用いただけます。それ以前にリリースされた Communication Manager では、Basic SAFE が採用されています。Enhanced SAFE は Basic SAFE の上位機能を搭載しています。

Enhanced SAFE では、SAFE アクセスコードのうち 1 つ (最大 4 つ) を用いて、ご自分の電話で [Extension to Cellular] 機能またはその他のアプリケーションで使用する携帯電話番号を自己管理できます。Enhanced SAFE では、既存の携帯番号を消去するには「\*\*#」のシーケンスを、ダイヤルプレフィクス、国番号、電話番号フィールドのそれぞれの間の区切り記号にはアスタリスク (\*) を用います。

SAFE アクセスコードおよびダイヤルプレフィクス、国番号の詳細については、『*Administering Avaya Aura<sup>TM</sup> Communication Manager Feature Description and Implementation*』をご覧ください。

---

## Basic SAFE の使用

Basic SAFE へのアクセスに使用する電話機の種類により、実行可能な自己管理タスクも異なります。

### オフィス ネットワーク外の共用プッシュホン電話の場合

1. [Extension to Cellular] アクセス番号にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. SAFE アクセス コードを入力します。  
発信音が聞こえます。
3. ステーション内線番号を入力します。
4. シャープ (#) を押します。
5. ステーションのセキュリティ コードを入力します。
6. シャープ (#) を押します。  
発信音が聞こえます。
7. 自分の携帯電話番号を入力します。
8. シャープ (#) を押します。  
確認トーンが聞こえます。[Extension to Cellular] 機能を通じて携帯電話がオフィスの電話の内線番号としてマッピングされます。
9. 電話を切ります。

#### 注:

お使いの携帯電話がルーティング不可能な場合、もしくは手順に誤りがあった場合は遮断トーンが聞こえます。この場合は一旦電話を切り、1～8までの手順を繰り返してください。それでも確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

### 携帯電話の場合

1. [Extension to Cellular] アクセス番号にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. SAFE アクセス コードを入力します。  
発信音が聞こえます。
3. ステーション内線番号を入力します。
4. シャープ (#) を押します。
5. ステーションのセキュリティ コードを入力します。

6. シャープ (#) を押します。

発信音が聞こえます。

7. シャープ (#) を押します。

確認トーンが聞こえます。[Extension to Cellular] 機能を通じて携帯電話がオフィスの電話の内線番号としてマッピングされます。

8. 電話を切ります。

注:

お使いの携帯電話がルーティング不可能な場合、もしくは手順に誤りがあった場合は遮断トーンが聞こえます。この場合は一旦電話を切り、1～7までの手順を繰り返してください。それでも確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

### 共用のオフィス電話機の場合

1. SAFE アクセス コードにダイヤルします。

発信音が聞こえます。

注:

自分専用のオフィス電話機で設定を行っている場合は、次の手順をスキップして手順3に進んでください。

2. 自分のオフィス電話機の内線番号を入力します。

3. シャープ (#) を押します。

4. ステーションのセキュリティ コードを入力します。

5. シャープ (#) を押します。

発信音が聞こえます。

6. 自分の携帯電話番号を入力します。

7. シャープ (#) を押します。

確認トーンが聞こえます。[Extension to Cellular] 機能を通じて携帯電話がオフィスの電話の内線番号としてマッピングされます。

8. 電話を切ります。

注:

お使いの携帯電話がルーティング不可能な場合、もしくは手順に誤りがあった場合は遮断トーンが聞こえます。この場合は一旦電話を切り、1～7までの手順を繰り返してください。それでも確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

### コンソール許可のある共用オフィス電話機の場合

1. SAFE アクセス コードにダイヤルします。

発信音が聞こえます。

2. ステーション内線番号を入力します。  
発信音が聞こえます。
3. 自分の携帯電話番号を入力します。
4. シャープ (#) を押します。  
確認トーンが聞こえます。[Extension to Cellular] 機能を通じて携帯電話がオフィスの電話の内線番号としてマッピングされます。
5. 電話を切ります。

注:

お使いの携帯電話がルーティング不可能な場合、もしくは手順に誤りがあった場合は遮断トーンが聞こえます。この場合は一旦電話を切り、1～4までの手順を繰り返してください。それでも確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

---

## Enhanced SAFE へのアクセス

携帯電話のマッピング情報の管理 / 削除に使用する電話機の種類により、実行可能な自己管理タスクも異なります。

## Enhanced SAFE を使った携帯電話のマッピング

注:

携帯電話のマッピング方法は、国外で携帯電話を使用するかどうか、または携帯電話番号とお使いの Communication Manager ソフトウェアが同じ国内で発行されたものであるかどうかにより異なります。携帯電話から長距離 / 国際通話を発信するには、以下の数字の一部または全部を使用します。

- ダイヤル プレフィクス 通常の場合、このプレフィクスは長距離アクセス コード (米国は「1」、ヨーロッパの主な国は「0」) か国際アクセス コード (米国は「011」、ヨーロッパの主な国は「00」) のいずれかとなります。
- 国番号 1～3 桁の番号で、ダイヤル プレフィクスに続けて入力します。国外の携帯電話を使用する場合、または自分の携帯電話を国外で使用する場合にはこの国番号が必要です。
- 国内での携帯電話番号全桁 8～10 桁 (米国では 10 桁) の番号で、最後の部分に入力します。

### 共用のプッシュホン電話の場合

1. [Extension to Cellular] アクセス番号にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。

2. SAFE アクセス コードを入力します。  
発信音が聞こえます。
3. ステーション内線番号を入力します。
4. シャープ (#) を押します。
5. ステーションのセキュリティ コードを入力します。
6. シャープ (#) を押します。  
発信音が聞こえます。
7. 携帯電話への転送に必要な番号を入力すると相手側の画面にオフィスの発信者 ID が表示されます。この番号は、以下のいずれかのシーケンスで構成されます。
  - ダイヤル プレフィクス、アスタリスク (\*)、国番号、アスタリスク (\*)、携帯電話番号
  - ダイヤル プレフィクス、アスタリスク (\*)、携帯電話番号
  - アスタリスク (\*)、国番号、アスタリスク (\*)、携帯電話番号
8. シャープ (#) を押します。  
確認トーンが聞こえます。[Extension to Cellular] 機能を通じて携帯電話がオフィスの電話の内線番号としてマッピングされます。
9. 電話を切ります。

**注:**

お使いの携帯電話がルーティング不可能な場合、もしくは手順に誤りがあった場合は遮断トーンが聞こえます。この場合は一旦電話を切り、1～8までの手順を繰り返してください。それでも確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

**携帯電話の場合**

1. [Extension to Cellular] アクセス番号にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. SAFE アクセス コードを入力します。  
発信音が聞こえます。
3. ステーション内線番号を入力します。
4. シャープ (#) を押します。
5. ステーションのセキュリティ コードを入力します。
6. シャープ (#) を押します。  
発信音が聞こえます。
7. 携帯電話への転送に必要な番号を入力すると相手側の画面にオフィスの発信者 ID が表示されます。この番号は、以下のいずれかのシーケンスで構成されます。
  - ダイヤル プレフィクス、アスタリスク (\*)、国番号、アスタリスク (\*)

- ダイヤルプレフィクス、アスタリスク (\*)
  - アスタリスク (\*)、国番号、アスタリスク (\*)
8. シャープ (#) を押します。
- 確認トーンが聞こえます。[Extension to Cellular] 機能を通じて携帯電話がオフィスの電話の内線番号としてマッピングされます。
9. 電話を切ります。

**注:**

お使いの携帯電話がルーティング不可能な場合、もしくは手順に誤りがあった場合は遮断トーンが聞こえます。この場合は一旦電話を切り、1～8までの手順を繰り返してください。それでも確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

**共用のオフィス電話機の場合**

1. SAFE アクセスコードにダイヤルします。
- 発信音が聞こえます。
- 注:**
- 自分専用のオフィス電話機で設定を行っている場合は、次の手順をスキップして手順3に進んでください。
2. 自分のオフィス電話機の内線番号を入力します。
  3. シャープ (#) を押します。
  4. ステーションのセキュリティコードを入力します。
  5. シャープ (#) を押します。
- 発信音が聞こえます。
6. 携帯電話への転送に必要な番号を入力すると相手側の画面にオフィスの発信者 ID が表示されます。この番号は、以下のいずれかのシーケンスで構成されます。
    - ダイヤルプレフィクス、アスタリスク (\*)、国番号、アスタリスク (\*)、携帯電話番号
    - ダイヤルプレフィクス、アスタリスク (\*)、携帯電話番号
    - アスタリスク (\*)、国番号、アスタリスク (\*)、携帯電話番号
  7. シャープ (#) を押します。
- 確認トーンが聞こえます。[Extension to Cellular] 機能を通じて携帯電話がオフィスの電話の内線番号としてマッピングされます。
8. 電話を切ります。

**注:**

お使いの携帯電話がルーティング不可能な場合、もしくは手順に誤りがあった場合は遮断トーンが聞こえます。この場合は一旦電話を切り、1～7までの手順を繰り返してください。それでも確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

**コンソール許可のある外部ネットワーク内の共用電話機の場合**

1. [Extension to Cellular] アクセス番号にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. SAFE アクセス コードを入力します。  
発信音が聞こえます。
3. ステーション内線番号を入力します。  
発信音が聞こえます。
4. シャープ (#) を押します。  
発信音が聞こえます。
5. 携帯電話への転送に必要な番号を入力すると相手側の画面にオフィスの発信者 ID が表示されます。この番号は以下のシーケンスで構成されます。
  - ダイヤル プレフィクス、アスタリスク (\*)、国番号、アスタリスク (\*)、携帯電話番号
6. シャープ (#) を押します。  
確認トーンが聞こえます。[Extension to Cellular] 機能を通じて携帯電話がオフィスの電話の内線番号としてマッピングされます。
7. 電話を切ります。

**注:**

お使いの携帯電話がルーティング不可能な場合、もしくは手順に誤りがあった場合は遮断トーンが聞こえます。この場合は一旦電話を切り、1～6までの手順を繰り返してください。それでも確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

**コンソール許可のある共用オフィス電話機の場合**

1. SAFE アクセス コードを入力します。  
発信音が聞こえます。
2. ステーション内線番号を入力します。
3. シャープ (#) を押します。  
発信音が聞こえます。
4. 携帯電話への転送に必要な番号を入力すると相手側の画面にオフィスの発信者 ID が表示されます。この番号は、以下のいずれかのシーケンスで構成されます。
  - ダイヤル プレフィクス、アスタリスク (\*)、国番号、アスタリスク (\*)、携帯電話番号

- ダイヤルプレフィクス、アスタリスク (\*)、携帯電話番号
  - アスタリスク (\*)、国番号、アスタリスク (\*)、携帯電話番号
5. シャープ (#) を押します。

確認トーンが聞こえます。[Extension to Cellular] 機能を通じて携帯電話がオフィスの電話の内線番号としてマッピングされます。

6. 電話を切ります。

注:

お使いの携帯電話がルーティング不可能な場合、もしくは手順に誤りがあった場合は遮断トーンが聞こえます。この場合は一旦電話を切り、1～5までの手順を繰り返してください。それでも確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

### コンソール許可のある自分専用のオフィス電話機の場合

1. SAFE アクセス コードを入力します。  
発信音が聞こえます。
2. シャープ (#) を押します。  
発信音が聞こえます。
3. 携帯電話への転送に必要な番号を入力すると相手側の画面にオフィスの発信者 ID が表示されます。この番号は、以下のいずれかのシーケンスで構成されます。
  - ダイヤルプレフィクス、アスタリスク (\*)、国番号、アスタリスク (\*)、携帯電話番号
  - ダイヤルプレフィクス、アスタリスク (\*)、携帯電話番号
  - アスタリスク (\*)、国番号、アスタリスク (\*)、携帯電話番号
4. シャープ (#) を押します。  
確認トーンが聞こえます。[Extension to Cellular] 機能を通じて携帯電話がオフィスの電話の内線番号としてマッピングされます。
5. 電話を切ります。

注:

お使いの携帯電話がルーティング不可能な場合、もしくは手順に誤りがあった場合は遮断トーンが聞こえます。この場合は一旦電話を切り、1～4までの手順を繰り返してください。それでも確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

## Enhanced SAFE を使って off-pbx 電話機のステーションマッピング ページから携帯電話番号を消去する

### 共用のプッシュホン電話機または自分の携帯電話の場合

1. [Extension to Cellular] アクセス番号にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. SAFE アクセス コードを入力します。  
発信音が聞こえます。
3. ステーション内線番号を入力します。
4. シャープ (#) を押します。
5. ステーションのセキュリティ コードを入力します。
6. シャープ (#) を押します。  
発信音が聞こえます。
7. アスタリスク (\*) を 2 回、続けてシャープ (#) を 1 回押します。設定内容から携帯電話番号が削除されます。  
  
確認トーンが聞こえます。[Extension to Cellular] 機能を通じて携帯電話がオフィスの電話の内線番号としてマッピングされなくなります。確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。
8. 電話を切ります。

### 共用のオフィス電話機の場合

1. SAFE アクセス コードを入力します。  
発信音が聞こえます。  
  
注：  
自分専用のオフィス電話機で設定を行っている場合は、次の手順をスキップして手順 3 に進んでください。
2. 自分のオフィス電話機の内線番号を入力します。
3. シャープ (#) を押します。
4. ステーションのセキュリティ コードを入力します。
5. シャープ (#) を押します。発信音が聞こえます。
6. アスタリスク (\*) を 2 回、続けてシャープ (#) を 1 回押します。設定内容から携帯電話番号が削除されます。  
  
確認トーンが聞こえます。[Extension to Cellular] 機能を通じて携帯電話がオフィスの電話の内線番号としてマッピングされなくなります。確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。
7. 電話を切ります。

## コンソール許可のある共用オフィス電話機の場合

1. SAFE アクセス コードを入力します。

発信音が聞こえます。

注:

自分専用のオフィス電話機で設定を行っている場合は、次の手順をスキップして手順 3 に進んでください。

2. 自分のオフィス電話機の内線番号を入力します。

3. シャープ (#) を押します。

発信音が聞こえます。

4. アスタリスク (\*) を 2 回、続けてシャープ (#) を 1 回押します。設定内容から携帯電話番号が削除されます。

確認トーンが聞こえます。[Extension to Cellular] 機能を通じて携帯電話がオフィスの電話の内線番号としてマッピングされなくなります。確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

5. 電話を切ります。

---

## FNE を使って [Communication Manager] 機能にアクセスする

機能名内線番号は、携帯電話から [Communication Manager] 機能にアクセスする際に必要となる内線電話番号です。

**Communication Manager にアクセスするには以下の作業を行ってください。**

1. 通話中の場合は一旦保留状態にします。
2. 別のラインがアクティブになったら、目的の機能に応じた FNE をダイヤルします。
3. 携帯電話の場合は [送信] を押します。ここで聞こえるトーンは、ダイヤルした FNE の種類によって異なります。

FNE の詳しい使用方法については、65 ページの[付録 A:「機能名内線番号」](#)を参照してください。

---

## 初めて [Extension to Cellular] を使用する

[Extension to Cellular] アクセス番号と機能特番、機能名内線番号をすべてシステム管理者から入手すると、[Extension to Cellular] が利用可能になります。会社のセルラー/無線サービス プロバイダを通じてこのサービスを利用している場合、[Extension to Cellular] 機能はすでに有効化されている点にご注意ください。

---

## アクセス番号を使って [Extension to Cellular] 機能を有効化する

### 自分専用のオフィス電話機の場合

1. システム管理者から入手した [Extension to Cellular] アクセス番号にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. [Extension to Cellular] 機能を有効化するための FAC を入力します。  
発信音が聞こえます。
3. 自分のオフィス電話機の内線番号を入力します。
4. シャープ (#) を押します。
5. ステーションのセキュリティ コードを入力します。
6. シャープ (#) を押します。  
[Extension to Cellular] 機能が有効になったことを知らせる確認トーンが聞こえます。
7. 電話を切ります。

#### 注:

確認トーンが聞こえない場合は一旦電話を切ってください。入力した番号を確認し、最初から手順を繰り返してください。確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

---

## FAC を使って [Extension to Cellular] を有効化する、または [Extension to Cellular] を無効化する

[Extension to Cellular] 機能特番を使って [Extension to Cellular] 機能を有効化 / 無効化することができます。この番号はシステム管理者が設定します。この FAC を使って、オフィスの電話番号に関連するあらゆる [Extension to Cellular] 携帯電話を有効化 / 無効化できます。

### 自分専用のオフィス電話機の場合

1. [Extension to Cellular] を有効化 / 無効化するための FAC にダイヤルします。

2. オフィスの電話番号の入力をスキップするにはシャープ (#) を押します。  
発信音が聞こえます。
3. オフィス電話番号のステーション セキュリティ コードを入力します。
4. シャープ (#) を押します。  
確認トーンが聞こえます。
5. 電話を切ります。

**注:**

確認トーンが聞こえない場合は一旦電話を切ってください。入力した番号を確認し、最初から手順を繰り返してください。確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

**自分専用ではないオフィス電話機の内線番号の場合**

1. [Extension to Cellular] 有効化 / 無効化 FAC にダイヤルします。
2. 自分のオフィス電話機の内線番号を入力します。
3. シャープ (#) を押します。  
発信音が聞こえます。
4. オフィス電話番号のステーション セキュリティ コードを入力します。
5. シャープ (#) を押します。  
確認トーンが聞こえます。
6. 電話を切ります。

**注:**

確認トーンが聞こえない場合は一旦電話を切ってください。入力した番号を確認し、最初から手順を繰り返してください。確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

**外部ネットワーク内の共用プッシュホン電話の場合**

1. Avaya [Extension to Cellular] アクセス番号 (テレコミュティング アクセス番号) にダイヤルします。発信音が聞こえます。
2. [Extension to Cellular] を有効化 / 無効化するための FAC を入力します。  
発信音が聞こえます。

**注:**

お使いの [Extension to Cellular] 携帯電話がオフィスの発信者 ID を送信するように設定されている場合は、手順 3 をスキップして手順 4 に進みます。

3. 自分のオフィス電話機の内線番号を入力します。
4. シャープ (#) を押します。
5. オフィス電話番号のステーション セキュリティ コードを入力します。

6. シャープ (#) を押します。

確認トーンが聞こえます。

7. 電話を切ります。

注:

確認トーンが聞こえない場合は一旦電話を切ってください。入力した番号を確認し、最初から手順を繰り返してください。確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

---

## FNE を使って [Extension to Cellular] 機能を有効化 / 無効化する

FNE を使って携帯電話から [Extension to Cellular] 機能を有効化することができます。

### 携帯電話の場合

1. Off-PBX Call Enable FNE にダイヤルします。

確認トーンが聞こえます。

2. 電話を切ります。

注:

確認トーンが聞こえない場合は一旦電話を切ってください。入力した番号を確認し、最初から手順を繰り返してください。確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

FNE を使って携帯電話から [Extension to Cellular] 機能を無効化することができます。

### 携帯電話の場合

1. Off-PBX Call Disable FNE にダイヤルします。

確認トーンが聞こえます。

2. 電話を切ります。

注:

確認トーンが聞こえない場合は一旦電話を切ってください。入力した番号を確認し、最初から手順を繰り返してください。確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

## 第 2 章：発信と着信

---

### 概要

[Extension to Cellular] の設定と有効化が完了すると、オフィス電話機への着信を携帯電話で受け取ることができます。この章では、[Extension to Cellular] 通話の受信と発信、またこれらの機能が通常の携帯電話サービスとどのように連動するかについて説明します。また、この章では [Conditional Call Extending] 機能を使って携帯電話に転送する着信を制限する方法や、[Shared Voice Connections] 機能を使って保留中の通話にアクセス / 接続する方法も説明しています。

#### 注:

この章に記載された内容はお使いの携帯電話やその実際の機能とは異なる場合がありますので、ご了承ください。お使いの携帯電話サービス プロバイダとの契約内容によっては、特定の機能が無効となったり、または本書に記述された操作が制限される場合もあります。このためこの機能を実際を使用する場合は、事前にお使いの携帯電話の操作および携帯電話サービスの利用規約を完全にご理解いただきますようお願いいたします。

---

### 電話を受ける

[Extension to Cellular] 機能を有効化すると以下の機能が利用可能になります。

#### 着信

[Extension to Cellular] 機能を有効化した状態でオフィス電話機宛てに電話がかかると、オフィス電話機と携帯電話の両方に着信が入ります。

#### Confirmed Answer

[Confirmed Answer] を使用した場合、Extension to Cellular (EC500) を設定した携帯電話への着信動作は

通常着信とは異なります。この機能を使用するには、管理者による事前のシステム設定が必要です。[Confirmed Answer] 機能は [Cellular Voice Mail Avoidance] 機能のオプションとしてお使いいただけます。詳しくは、「42 ページの[「セルラー ボイス メール回避機能」](#)」を参照してください。

---

## 発信者 ID

お使いの携帯電話に発信者 ID 機能が搭載されている場合は、オフィス電話機宛てに電話をかけた相手の電話番号が携帯電話画面に表示されます。画面には発信者の 10 桁の電話番号が表示されます。社内通話の場合は 10 桁の電話番号か、もしくは 10 桁以下の内線番号が表示されず。

注:

携帯電話のネットワークによっては 10 桁の発信者 ID しか伝達されない場合があります。10 桁の番号のみを伝達するネットワークでは、10 桁以下の社内発信者 ID (4 桁の内線番号など) を受信できない場合があります。10 桁の番号を設定可能かどうかシステム管理者に問い合わせるか、またはお使いの携帯電話サービス プロバイダに連絡して発信者 ID への対応状況を確認してください。

---

## 電話をかける

相手に電話をかけるには、以下のいずれかのオプションを選択できます。

- オフィス発信者 ID を送信して電話をかける
- オフィス発信者 ID を送信せずに電話をかける

### オフィス発信者 ID を送信して電話をかける

[Extension to Cellular] を使うとオプションのオフィス発信者 ID 機能を利用できます。この機能を使うと、オフィスの電話システムに接続している相手に電話をかける際、携帯電話をオフィスの電話機と同様に機能させることができます。

お使いの携帯電話がオフィス発信者 ID を送信するよう、システム管理者が設定を行います。発信者 ID 機能が有効になると、オフィスの同じ電話システムを共有している人物に電話をかける際、相手の画面上に発信者の名前とオフィス電話番号、携帯電話番号が表示されるようになります。Idle Appearance Select FNE を使って電話をかける手順については、「70 ページの「Idle Appearance Select FNE」」をご覧ください。

注:

オフィス発信者 ID を送信するよう設定した場合は、EC500 が有効化されているかどうかに関わらず [Extension to Cellular] のオフィス発信者 ID 機能が有効になります。

### 発信者 ID を送信せずに電話をかける

発信者 ID を持つ人物に対し、オフィス発信者 ID を送信せずに電話をかけた場合、相手の画面には発信者の携帯番号のみが表示され、オフィス電話番号は表示されません。

---

## 通話の管理

[Extension to Cellular] 通話中には、本セクションで説明する通話管理機能を利用できます。

---

## コール ウェイティング

お使いの携帯電話が [コール ウェイティング] 機能に対応している場合、携帯電話を使用中であっても自分のオフィス電話番号宛てにかかってきた別の着信を携帯電話に転送させることができます。2 つ目の通話に応答し、またこの 2 つの通話の間で切り替えを行うこともできます。さらに Conference Complete FNE を使えば会議通話も可能です。詳しくは、「[Conference Complete FNE](#)」を参照してください。

携帯電話をご利用の場合、これらの機能は [Extension to Cellular] やお使いの Avaya 電話システムに関わらず、お持ちの携帯電話の説明書に記載されたとおりに作動します。

注:

[コール ウェイティング] 機能および 2 通話間での切り替え機能が利用可能となるのは、携帯電話が以下の条件を満たしている場合のみとなります。

- お使いの携帯電話サービス プロバイダがこれらの機能に対応している
- お使いの携帯電話サービスの契約内容にこれらの機能が含まれている

---

## 携帯電話から オフィス電話機に切り替える

[Extension to Cellular] 機能では、携帯電話はオフィス電話の内線のひとつとして扱われ、ユーザーがオフィス内に所在している場合は 2 つの通話間での切り替えが可能です。たとえば、出勤前に携帯電話で [Extension to Cellular] を有効にしておけば、出勤中でも電話を受けることができます。オフィスのデスクに到着した後でも途切れることなく会話が継続します。この時点で、通話をオフィスの電話機に移して会話を続けることができます (これが電話料金の節約につながります)。

**注:**

Extension to Cellular は、携帯電話が稼動している場所であればどこでも使用可能です。携帯電話を使用していると、電波状態によってはオフィス内でも通話が途切れてしまうことがあります。このような場所にオプションの分散アンテナシステム (DAS) をオフィス内に設置すると、電波状態が効果的に良化します。詳細情報については、システム管理者が Avaya に問い合わせる必要があります。

[Extension to Cellular] が有効になった状態で携帯電話で着信を受ける場合も、以下と同様の手順を行います。また、オフィス発信者番号 ID を送信するよう設定された [Extension to Cellular] 携帯電話から発信する場合も同様です。電話の切り替えは、通話相手に伝えてから行うようにしてください。

**[Extension to Cellular] 機能が設定された携帯電話で通話中に、オフィス電話機に切り替えて通話を続けるには、以下の作業を行ってください。**

1. オフィス電話機の受話器を取るか、スピーカをオンにします。
2. オフィス電話機上で、ラインが使用中であることを示す点灯中の [コール アピアランス] ボタンを押します。

オフィス電話機上で通話がアクティブになります。(通話が切り替わらない場合は [exclude] 機能が有効になっている可能性があります。詳細については「56 ページの [「Extension to Cellular コールから他者を排除する」](#)」をご覧ください。)

3. お使いの携帯電話で「通話終了」に該当するボタンを押し、通話を切断します。
4. オフィス電話機の受話器またはスピーカで引き続き通話することができます。

ボイス メール機能を搭載した携帯電話をお使いの場合は、「[第 3 章:「ボイスメール」](#)」に記載されたビジネス関連のメッセージの受信方法をご確認ください。

[Extension to Cellular] を定期的に有効化 / 無効化するための手順については「[第 4 章:「Extension to Cellular の設定または設定解除とセキュリティの管理」](#)」をご覧ください。また、この章ではセキュリティについて、およびステーション セキュリティ コードの変更手順についても説明しています。

---

## オフィス電話機から 携帯電話に切り替える

[Extension to Cellular] 機能を使うと、オフィス電話機での通話中であっても携帯電話に通話を切り替えて外出することができます。たとえば、外出の直前にオフィス電話機で電話を受けてしまったとします。[Extension to Cellular] 機能を利用した携帯電話なら、たとえオフィスを離れても携帯電話で通話を引き継ぐことが可能です。

### 注:

Extension to Cellular は、携帯電話が稼動している場所であればどこでも使用可能です。携帯電話を使用していると、電波状態によってはオフィス内でも通話が途切れてしまうことがあります。このような場所にオプションの分散アンテナシステム (DAS) をオフィス内に設置すると、電波状態が効果的に良化します。詳細情報については、システム管理者が Avaya に問い合わせる必要があります。

電話の切り替えは、通話相手に伝えてから行うようにしてください。

オフィス電話機でアクティブな状態の [Extension to Cellular] 通話を携帯電話で引き継ぐには、以下の作業を行ってください。

1. 携帯電話の電源を入れます。
2. 次のいずれかの方法で携帯電話に通話を転送してください。
  - オフィス電話機上の [携帯転送] ボタンを押します (オフィス電話機がこの機能に対応している場合のみ)。[携帯転送] ボタンを押すと、お使いのオフィス電話機にマッピングされた別の Extended Access 電話機に通話が転送されます。このボタンに関する詳細については、担当の管理者にお問い合わせください。
  - 携帯電話から [Active Appearance Select] 機能名内線番号にダイヤルし、携帯電話に通話を転送してください。お使いのシステムの機能名内線番号については、システム管理者にお問い合わせください。

オフィス電話機上で通話がアクティブになります。

3. オフィス電話機で通話を切断します。
4. 携帯電話で通話を引き継ぎます。

ボイス メール機能を搭載した携帯電話をお使いの場合は、「[第 3 章:「ボイスメール」](#)」に記載されたビジネス関連のメッセージの受信方法をご確認ください。

[Extension to Cellular] を定期的に有効化 / 無効化するための手順については「[第 4 章:「Extension to Cellular の設定または設定解除とセキュリティの管理」](#)」をご覧ください。また、この章ではセキュリティについて、およびステーションセキュリティコードの変更手順についても説明しています。

---

## 通話を制限する

[Conditional Call Extending] 機能を使うと、EC500 を設定した携帯電話に転送する通話の種類を制限することができます。[Conditional Call Extending] 機能は、PBFMC や PVFMC、SPFMC などの Fixed Mobility Convergence (FMC) アプリケーションにより使用されます。ただし、ONE-X を搭載したデュアル モード ペア (DMX) として管理されている場合、この機能は PVFMC アプリケーションでは対応できません。[Conditional Call Extending] 機能は OPS アプリケーションに対応していません。[conditional call extending] 設定を有効化するには、システム管理者にお問い合わせください。

[Conditional Call Extending] 設定を有効にするには Conditional Call Extend Enable FNE および Conditional Call Extend Activation FAC を使用します。[Conditional Call Extending] 設定を無効にするには Conditional Call Extend Disable FNE および Conditional Call Extend Deactivation FAC を使用します。

通話タイプの設定シーケンスとアプリケーション番号を使って 6 種類の通話を制限することができます。このアプリケーション番号は、**off-pbx 電話機のステーションマッピング** ページ上のアプリケーションの位置に対応しています。アプリケーション番号については、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

**通話タイプの設定シーケンス**とは、キー シーケンスで入力した番号のことです。通話タイプの設定シーケンス数に制限はありません。

通話タイプの設定 シーケンス	通話のタイ プ	詳細
1	S	ステーションへの通常通話
2	C	リダイレクト通話: カバーされた、またはステーションに転送された通話
3	H	ハント通話: ハント グループを通じたステーションへの通話
4	I	ステーションへのインターコム通話
5	P	ステーションへの優先通話
6	R	制限クラス (COR) により制限された通話

---

## FAC を使って [Conditional Call Extending] 機能を有効化 / 無効化する

携帯電話からダイヤルする場合：

1. [Extension to Cellular] アクセス番号にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. Conditional Call Extend Activation FAC または Conditional Call Extend Deactivation FAC にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
3. ステーション内線番号を入力します。
4. シャープ (#) を押します。
5. ステーションのセキュリティ コードを入力します。
6. シャープ (#) を押します。  
発信音が聞こえます。
7. アプリケーション番号を入力します。
8. アスタリスク (\*) を押します。
9. 通話タイプの設定シーケンスを入力します。
10. シャープ (#) を押します。  
確認トーンが聞こえます。手順 2 で選択した FAC に応じ、[Extension to Cellular] 機能が転送または転送の停止を行います。
11. 電話を切ります。

注：

確認トーンが聞こえない場合は一旦電話を切ってください。入力した番号を確認し、2 番目から手順を繰り返してください。確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

### コンソール許可のない共用オフィス電話機の場合

1. Conditional Call Extend Activation FAC または Conditional Call Extend Deactivation FAC にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。  
注：  
自分専用のオフィス電話機で設定を行っている場合は、次の手順をスキップして手順 3 に進んでください。
2. ステーション内線番号を入力します。
3. シャープ (#) を押します。

4. ステーションのセキュリティ コードを入力します。

5. シャープ (#) を押します。

発信音が聞こえます。

6. アプリケーション番号を入力します。

7. シャープ (#) を押します。

8. 通話タイプの設定シーケンスを入力します。

9. シャープ (#) を押します。

確認トーンが聞こえます。手順 1 で選択した FAC に応じ、[Extension to Cellular] 機能が転送または転送の停止を行います。

10. 電話を切ります。

注:

確認トーンが聞こえない場合は一旦電話を切ってください。入力した番号を確認し、最初から手順を繰り返してください。確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

#### コンソール許可のある共用オフィス電話機の場合

1. Conditional Call Extend Activation FAC または Conditional Call Extend Deactivation FAC にダイヤルします。

発信音が聞こえます。

2. ステーション内線番号を入力します。

3. シャープ (#) を押します。

発信音が聞こえます。

4. アプリケーション番号を入力します。

5. シャープ (#) を押します。

6. 通話タイプの設定シーケンスを入力します。

7. シャープ (#) を押します。

確認トーンが聞こえます。手順 1 で選択した FAC に応じ、[Extension to Cellular] 機能が転送または転送の停止を行います。

8. 電話を切ります。

注:

確認トーンが聞こえない場合は一旦電話を切ってください。入力した番号を確認し、1 番目から手順を繰り返してください。確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

## コンソール許可のある自分専用のオフィス電話機の場合

1. Conditional Call Extend Activation FAC または Conditional Call Extend Deactivation FAC にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. シャープ (#) を押します。  
発信音が聞こえます。
3. アプリケーション番号を入力します。
4. アスタリスク (\*) を押します。
5. 通話タイプの設定シーケンスを入力します。
6. シャープ (#) を押します。  
確認トーンが聞こえます。手順 1 で選択した FAC に応じ、[Extension to Cellular] 機能が転送または転送の停止を行います。
7. 電話を切ります。

### 注:

確認トーンが聞こえない場合は一旦電話を切ってください。入力した番号を確認し、最初から手順を繰り返してください。確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

---

## FNE を使って [Conditional Call Extending] 機能を有効化 / 無効化する

### 携帯電話または off-pbx 電話の場合

1. Conditional Call Extend Enable FNE または Conditional Call Extend Disable FNE にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. 通話タイプの設定シーケンスを入力します。
3. シャープ (#) を押します。  
確認トーンが聞こえます。手順 1 で選択した FNE に応じ、[Extension to Cellular] 機能が転送または転送の停止を行います。
4. 電話を切ります。

### 注:

確認トーンが聞こえない場合は一旦電話を切ってください。入力した番号を確認し、最初から手順を繰り返してください。確認トーンが聞こえない場合は、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

---

## FNE を使って [Conditional Call Extending] 用の COR を設定する

### 携帯電話または off-pbx 電話の場合

1. Conditional Call Extend Enable FNE または Conditional Call Extend Disable FNE にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. アスタリスク (\*) を押します。
3. COR 値を入力します。
4. シャープ (#) を押します。
5. 電話を切ります。

---

## FAC を使って [Conditional Call Extending] 用の COR を設定する

### 携帯電話からダイヤルする場合：

1. テレコミュータ番号にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. Conditional Call Extend Activation FAC または Conditional Call Extend Deactivation FAC にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
3. ステーション内線番号を入力します。
4. シャープ (#) を押します。
5. ステーションのセキュリティ コードを入力します。
6. シャープ (#) を押します。  
発信音が聞こえます。
7. アプリケーション番号を入力します。
8. アスタリスク (\*) を押します。
9. アスタリスク (\*) を押します。
10. COR 値を入力します。COR 値の範囲は 0 ~ 995 です。
11. シャープ (#) を押します。
12. 電話を切ります。

## コンソール許可のない共用オフィス電話機の場合

1. Conditional Call Extend Activation FAC または Conditional Call Extend Deactivation FAC にダイヤルします。

発信音が聞こえます。

注:

自分専用のオフィス電話機で設定を行っている場合は、次の手順をスキップして手順 3 に進んでください。

2. ステーション内線番号を入力します。
3. シャープ (#) を押します。
4. ステーションのセキュリティ コードを入力します。
5. シャープ (#) を押します。  
発信音が聞こえます。
6. アプリケーション番号を入力します。
7. アスタリスク (\*) を押します。
8. アスタリスク (\*) を押します。
9. COR 値を入力します。COR 値の範囲は 0 ～ 995 です。
10. シャープ (#) を押します。
11. 電話を切ります。

## コンソール許可のある共用オフィス電話機の場合

1. Conditional Call Extend Activation FAC または Conditional Call Extend Deactivation FAC にダイヤルします。

発信音が聞こえます。

2. ステーション内線番号を入力します。
3. シャープ (#) を押します。  
発信音が聞こえます。
4. アプリケーション番号を入力します。
5. アスタリスク (\*) を押します。
6. アスタリスク (\*) を押します。
7. COR 値を入力します。COR 値の範囲は 0 ～ 995 です。
8. シャープ (#) を押します。
9. 電話を切ります。

### コンソール許可のある自分専用のオフィス電話機の場合

1. Conditional Call Extend Activation FAC または Conditional Call Extend Deactivation FAC にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. シャープ (#) を押します。  
発信音が聞こえます。
3. アプリケーション番号を入力します。
4. アスタリスク (\*) を押します。
5. アスタリスク (\*) を押します。
6. COR 値を入力します。COR 値の範囲は 0 ~ 995 です。
7. シャープ (#) を押します。
8. 電話を切ります。

---

## FNE を使って Dual-Mode アプリケーションの [Conditional Call Extending] 機能を有効化 / 無効化する

### 携帯電話または off-pbx 電話の場合

1. Conditional Call Extend Enable FNE または Conditional Call Extend Disable FNE にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. ゼロ (0) を押します。
3. 設定番号を入力します。ここでは、設定番号は 1 です。
4. シャープ (#) を押します。
5. 電話を切ります。

---

## FAC を使って Dual-Mode アプリケーションの [Conditional Call Extending] 機能を有効化 / 無効化する

携帯電話からダイヤルする場合：

1. テレコミュータ番号にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. Conditional Call Extend Activation FAC または Conditional Call Extend Deactivation FAC にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
3. ステーション内線番号を入力します。
4. シャープ (#) を押します。
5. ステーションのセキュリティ コードを入力します。
6. シャープ (#) を押します。  
発信音が聞こえます。
7. アプリケーション番号を入力します。
8. アスタリスク (\*) を押します。
9. ゼロ (0) を押します。
10. 設定番号を入力します。ここでは、設定番号は 1 です。
11. シャープ (#) を押します。
12. 電話を切ります。

## マッピングされていない off-pbx 電話機の場合

1. テレコミュータ番号にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. Conditional Call Extend Activation FAC または Conditional Call Extend Deactivation FAC にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
3. そのほかのペアリングされたステーション内線番号を入力します。
4. シャープ (#) を押します。
5. ステーションのセキュリティ コードを入力します。
6. シャープ (#) を押します。  
発信音が聞こえます。
7. アプリケーション番号を入力します。
8. アスタリスク (\*) を押します。
9. ゼロ (0) を押します。
10. 設定番号を入力します。ここでは、設定番号は 1 です。
11. シャープ (#) を押します。
12. 電話を切ります。

## コンソール許可のない共用オフィス電話機の場合

1. Conditional Call Extend Activation FAC または Conditional Call Extend Deactivation FAC にダイヤルします。

発信音が聞こえます。

注:

自分専用のオフィス電話機で設定を行っている場合は、次の手順をスキップして手順 3 に進んでください。

2. ステーション内線番号を入力します。
3. シャープ (#) を押します。
4. ステーションのセキュリティ コードを入力します。
5. シャープ (#) を押します。  
発信音が聞こえます。
6. アプリケーション番号を入力します。
7. アスタリスク (\*) を押します。
8. ゼロ (0) を押します。
9. 設定番号を入力します。ここでは、設定番号は 1 です。
10. シャープ (#) を押します。
11. 電話を切ります。

### コンソール許可のある共用オフィス電話機の場合

1. Conditional Call Extend Activation FAC または Conditional Call Extend Deactivation FAC にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. ステーション内線番号を入力します。
3. シャープ (#) を押します。  
発信音が聞こえます。
4. アプリケーション番号を入力します。
5. アスタリスク (\*) を押します。
6. ゼロ (0) を押します。
7. 設定番号を入力します。ここでは、設定番号は 1 です。
8. シャープ (#) を押します。
9. 電話を切ります。

### コンソール許可のある自分専用のオフィス電話機の場合

1. Conditional Call Extend Activation FAC または Conditional Call Extend Deactivation FAC にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. シャープ (#) を押します。  
発信音が聞こえます。
3. アプリケーション番号を入力します。
4. アスタリスク (\*) を押します。
5. ゼロ (0) を押します。
6. 設定番号を入力します。ここでは、設定番号は 1 です。
7. シャープ (#) を押します。
8. 電話を切ります。

## 第 3 章 : ボイスメール

---

### 概要

会社にかかってきた電話は応答しないと、規定の回数の呼び出し音が鳴った後、通常は会社のボイスメールヘルディングされます。携帯電話のサービスプロバイダがボイスメールの機能を提供している場合、Extension to Cellular を使用して、不応答呼を指定のボイスメールシステムに送ることができます。システム管理者は、指定のボイスメールシステム(会社)が必ず不応答呼をピックアップするように、応答前に鳴る呼び出し音の回数を設定できます。

また、システム管理者が Extension to Cellular プロファイルを設定する際、利用するボイスメールシステムを選択することもできます。

**注:**

不応答呼は、どちらかのシステムのボイスメールボックスにメッセージが残されることになる場合があります。

---

### 会社のボイスメールを使用してメッセージを受信する

会社のボイスメールシステムでボイスメッセージを受信するには、携帯電話サービスのボイスメール機能を変更して、会社のボイスメールシステムよりも長い期間、呼び出し音を鳴らすように設定します。たとえば、会社のボイスメールが、3 回目の呼び出し音で不応答呼を自動的にピックアップする場合、携帯電話のボイスメールは、4 回目または 5 回目の呼び出し音で不応答呼をピックアップするように設定する必要があります。このように設定すると、携帯電話のボイスメールシステムがピックアップする前に、会社のボイスメールが不応答呼すべてを必ずピックアップするようになります。

携帯電話の呼び出し音の回数をユーザーが設定できない場合は、ご利用されている携帯電話のサービスプロバイダに連絡してください。この際、オフィスにかかってきた電話が、会社のボイスメールシステムに送られるために必要な呼び出し音の回数を確認しておきます。そして、サービスプロバイダに、不応答の呼び出し音の回数(または通話が携帯電話のボイスメールに送られる前に鳴る呼び出し音の回数)を会社のボイスメールの回数より多くするように依頼します。たとえば、オフィスにかかってきた電話が呼び出し音が 4 回鳴った後に会社のボイスメールに送られる場合は、不応答呼の呼び出し音の回数を少なくとも 5 回に設定するよう、サービスプロバイダに依頼します。

**注:**

携帯電話をビジネス用に使用している場合、携帯電話のサービスプロバイダは、携帯電話のボイスメールを解除して、すべてのメッセージを会社のボイスメールに送られるようにすることも可能です。

---

## Extension to Cellular と会社のボイスメール システム

携帯電話にオフィスの発信者 ID を送信させている場合、Extension to Cellular と会社のボイスメール システムが同じ電話サーバーまたはスイッチを使用する場合にのみ、Extension to Cellular コールが会社のボイスメール システムに残したメッセージはオフィスの電話番号で特定されます。携帯電話に会社の発信者 ID を送信させていない場合は、通話は携帯の電話番号で特定されます。

Extension to Cellular の携帯電話にオフィスの発信者 ID を送信させると、オフィスの電話機からアクセスするのと同じ方法で、会社のボイスメール システムにアクセスできるようになります。たとえば、INTUITY™ AUDIX® ユーザーは、オフィスの電話番号を入力する代わりにシャープ (#) を押すだけです。

---

## セルラー ボイスメール回避機能

Communication Manager 拡張アクセス (Extended Access) のセルラー ボイスメール回避機能によって、応答しなかった Extension to Cellular コールの送信先の不確実性が軽減されます。携帯電話で Extension to Cellular を設定すると、不応答呼は、会社のボイスメール (たとえば、オフィスの電話機の) または携帯電話サービス プロバイダのボイスメール システムへ送られます。

かかってくる電話を会社のボイスメール システムへ送りたい場合は、システム管理者に連絡して、セルラー ボイスメール回避機能を設定してもらってください。このとき、システム管理者に、GSM や CDMA 等、使用している携帯電話サービスのタイプを伝えます。

ほとんどの携帯電話サービス プロバイダは、携帯電話の電源が切られている場合、またはサービス エリア外にいる場合、かかってきた電話を自動的にボイスメールにルーティングします。セルラー ボイスメール回避機能は、携帯電話のボイスメールがかかってくる電話を自動的にカバーするタイミングを検出します。セルラー ボイスメール回避機能は、かかってきた電話が携帯電話のボイスメールへ自動的に送られないようにします。携帯電話の電源を切る前に、Extension to Cellular を解除するようにすることも大切です。こうすると、仕事関係の電話が、携帯電話のボイスメール システムへ送られないようになります。オフィスの電話番号へかかってくる電話は、会社のボイスメール システムに送られ、携帯電話にかかってくる電話は携帯電話のボイスメールに送られます。

Extension to Cellular にかかってくる電話には、セルラー ボイスメール回避の確認応答オプションを使用することもできます。この機能は、Communication Manager 5.0 以降で使用可能です。

確認応答オプションを使用すると、携帯電話のボイスメール システムが Extension to Cellular コールに応答しないようにすることができます。確認応答オプションを設定している場合、着呼に応答するとダイヤルトーンが聞こえます。電話に応答するには、携帯電話のキーパッドの数字を押すことが必要です。設定時間内に電話に応答しないと、システムはこの通話を応答しなかったとして処理します。システムは、リコール ダイヤルトーンを鳴らして、数字を入力するように指示します。タイムアウトの時間内に数字を入力しないと、携帯電話の呼び出しは中止されます。次に、デスクの電話機で呼び出し音が鳴らされ、最終的にコール カバレッジに従います。携帯電話のボイスメール システムが、通話を受ける場合には数字をダイヤルす

る必要はありません。したがって、Communication Manager は、携帯電話のボイスメールへ送られた通話を応答済みとして処理しません。

詳細は、『*Administering Avaya Aura™ Communication Manager Feature Description and Implementation*』をご覧ください。

---

## Unified Messenger for Microsoft Exchange の「Notify Me」

Unified Messenger for Microsoft Exchange (バージョン 4.0 以降) の「Notify Me」機能にアクセスできる場合、携帯電話のディスプレイには、会社のボイス メールボックスにメッセージがあることが通知されます。この機能に関する詳細情報は、『*Unified Messenger Telephone User Interface Online Guide*』の「Notify Me 機能の設定」をご覧ください。このガイドは、<http://www.avaya.com/support> にあります。

**注:**

この機能を使用するには、携帯電話がテキスト メッセージングをサポートしている必要があります。



## 第 4 章：Extension to Cellular の設定または設定解除とセキュリティの管理

---

### 概要

この章では、携帯電話で Extension to Cellular を設定または設定を解除する場合のガイドラインや手順について説明します。

- オフィスの電話番号にかかってきた電話を携帯電話で受ける場合は、Extension to Cellular を設定します (たとえば、営業時間中に外出する場合)。
- オフィスの電話番号にかかってきた電話をオフィスの電話機で受ける場合は、Extension to Cellular の設定を解除します。

原則的に、携帯電話の電源を切る前に Extension to Cellular の設定を解除するようにします。こうすると、メッセージが会社のボイス メール システムに送られるようになります ([「第 3 章：ボイスメール」](#)を参照)。

セキュリティ対策として、内線セキュリティ コードは定期的に変更するようにしてください。この章では、その他のセキュリティ対策も説明します。

---

### Extension to Cellular を設定する

次のような手順で、オフィスにあるどの電話機からでも、あるいはタッチトーン電話機であればどこからでも、Extension to Cellular を設定することができます。このサービスを携帯電話のサービス プロバイダ (CSP) に申し込んでいる場合は、Extension to Cellular は既に設定されていることにご注意ください。

機能名拡張を使用して、Extension to Cellular を設定または設定を解除することもできます。詳しくは、「11 ページの[「イントロダクション」](#)を参照してください。65 ページの[付録 A:「機能名内線番号」](#)も参照してください。

---

### オフィスの電話の機能ボタンを使用して Extension to Cellular を設定する

オフィスの電話機に設定されている機能ステータスボタンから Extension to Cellular を設定できます。このオプションを利用するためには、オフィスの電話機が設定可能な機能ボタンをサ

ポートしていることと、システム管理者によって、Extension to Cellular の拡張機能が設定されていることが必要です。

この機能の設定に必要なボタンを押す回数は、タイマーが設定されているか解除されているか、またオプションの Extension to Cellular タイマーが設定されているかどうかなど、機能の現在の設定状況に応じて変わります。「46 ページの [表 1: 「機能ステータスボタンから Extension to Cellular を設定する」](#)」を参照してください。

オフィスの電話機に設定された機能ステータス ボタンから Extension to Cellular を有効に設定する場合、FAC は必要ありません。

注:

以下のメッセージの「EC500」は Extension to Cellular を意味します。

表 1: 機能ステータスボタンから Extension to Cellular を設定する

Extension to Cellular の設定状態	タイマーの設定状態	機能ボタンを押す回数	インジケータ
設定は解除されています (ランプはオフ)	設定されていません	1 回	ランプは緑に点灯しています。 「EC500 Enabled」というメッセージが 2 秒間表示されます。
設定は解除されています (ランプはオフ)	設定されています	1 回	ランプは緑に点灯しています。 「EC500 Enabled」というメッセージが 2 秒間表示されます。
タイマーは有効です (ランプは点滅)	設定されています	2 回	ランプは緑に点灯しています。 「EC500 Enabled」というメッセージが 2 秒間表示されます。

オフィス電話機の機能ステータス ボタンは、機能がリモートで設定されたか、オフィスの電話機から直接設定されたかに関係なく、Extension to Cellular の現在の状態を示します。

## 携帯電話の FNE を使用して Extension to Cellular を設定する

携帯電話から Extension to Cellular を設定するには、次のように操作します。

1. PBX 外呼 (Off-PBX Call) 設定 FNE の電話番号をダイヤルします。

Extension to Cellular が設定されたことを示す確認トーンが聞こえます。確認トーンが聞こえなかった場合は、システム管理者に連絡してください。

2. 電話を切ります。

---

## 機能特番を使用して Extension to Cellular を設定する

注:

ポケット リファレンス カードに有効な機能特番を記入しておくとう便利です。  
「83 ページの[「Extension to Cellular ポケット リファレンス カード」](#)を参照してください。

携帯電話またはオフィス ネットワーク上のタッチトーン電話機から Extension to Cellular を設定するには、次のように操作します。

1. Extension to Cellular を設定する機能特番をダイヤルします。

ダイヤルトーンが聞こえます。

オフィスの電話機から、またはオフィスの発信者 ID を送信する携帯電話からこの手順を実施している場合は、次のステップをとばし、ステップ 3 へ進んでください。

2. オフィスの電話機の内線番号を入力します。
3. シャープ (#) を押します。
4. 内線セキュリティ コードを入力します。
5. シャープ (#) を押します。

Extension to Cellular が設定されたことを示す確認トーンが聞こえます。

6. 電話を切ります。

注:

確認トーンが聞こえなかった場合は電話を切ります。入力したコードを確認して、ステップ 1 からもう一度やり直します。今度も確認トーンが聞こえなかった場合は、システム管理者に連絡してください。

Extension to Cellular を設定した後は、オフィスの電話機に電話がかかってくると、携帯電話でも呼び出し音が鳴ります。かかってきた電話に応答しないと、設定したボイス メール システムに送られます (「[第 3 章:「ボイスメール」](#)」を参照)。オフィスの発信者 ID を送信するように設定されている場合、この設定手順または解除手順を行っても変更はありません。携帯電話で電話を受けられるようになるだけです。

---

## リモートの電話を使用して Extension to Cellular を設定する

注:

設定する機能特番や Extension to Cellular のアクセス番号をポケット リファレンス カードに記入しておくとう便利です。「83 ページの[「Extension to Cellular ポケット リファレンス カード」](#)を参照してください。

**注:**

以下の手順は、リモートの電話機がオフィスの電話機にマッピングされていない場合にのみ実施してください。リモートの電話機がオフィスの電話機にマッピングされている場合は、PBX 外呼 (Off-PBX Call) 設定 FNE をダイヤルすることが必要です。

リモートの電話機を使用して Extension to Cellular を設定するには、次の操作を実施します。

1. リモートのタッチトーン電話機から、テレコミュタ番号をダイヤルします。  
ダイヤルトーンが聞こえます。
2. Extension to Cellular を設定する機能特番を入力します。  
ダイヤルトーンが聞こえます。
3. オフィスの電話機の内線番号を入力します。
4. シャープ (#) を押します。
5. 内線セキュリティ コードを入力します。
6. シャープ (#) を押します。  
Extension to Cellular が設定されたことを示す確認トーンが聞こえます。
7. 電話を切ります。

**注:**

確認トーンが聞こえなかった場合は電話を切ります。入力したコードを確認して、ステップ 1 からもう一度やり直します。今度も確認トーンが聞こえなかった場合は、システム管理者に連絡してください。

Extension to Cellular を設定した後は、オフィスの電話機に電話がかかってくると、携帯電話でも呼び出し音が鳴ります。かかってきた電話に応答しないと、設定したボイス メール システムに送られます ([「第 3 章:「ボイスメール」](#)を参照)。オフィスの発信者 ID を送信する設定は、この設定または設定解除の手順を実施しても変わりません。携帯電話で電話を受けるようになるだけです。

---

## Extension to Cellular の設定を解除する

次のような手順で、オフィスにあるどの電話機からでも、あるいはタッチトーン電話機であればどこからでも、Extension to Cellular の設定を解除できます。このサービスを携帯電話のサービスプロバイダに申し込んでいる場合は、Extension to Cellular の設定を解除することはできません。

Extension to Cellular の設定を解除するタイミングや頻度は、それぞれのユーザーによって変わります。けれども、以下のような状況ではそれぞれ、Extension to Cellular の設定を解除することが必要です。

- 携帯電話の電源を切る前

- 携帯電話のサービス エリア外に入る前
- ローミング中

このようにすると、出られなかった、または応答しなかった電話は、携帯電話のボイス メールではなく、会社のボイス メールに送られるようになります ([第 3 章:「ボイスメール」](#)を参照)。

## オフィスの電話機の機能ボタンを使用して Extension to Cellular の設定を解除する

オフィスの電話機に設定されている機能ステータスボタンから Extension to Cellular の設定を解除できます。このオプションを利用するには、オフィスの電話機が設定可能な機能ボタンをサポートしていること、Extension to Cellular の拡張機能が設定されていることが必要です。

この機能の設定解除に必要なボタンを押す回数は、Extension to Cellular の現在の状態 (設定されているか、またはタイマーが設定されているか) やオプションの Extension to Cellular タイマーが設定されているかどうか、に応じて変わります。[「表 2」](#)を参照してください。

会社の電話機に設定された機能ステータス ボタンから Extension to Cellular の設定を解除する場合、FAC は必要ありません。

注:

以下のメッセージの「EC500」は Extension to Cellular を意味します。

表 2 : 機能ステータスボタンから Extension to Cellular を設定する

Extension to Cellular の設定状態	タイマーの設定状態	機能ボタンを押す回数	インジケータ
設定されています (ランプがオン)	設定されていません	1 回	ランプは緑に点灯しています。 「EC500 Disabled」というメッセージが 2 秒間表示されます。
設定されています (ランプがオン)	設定されています	1 回	ランプは緑に点灯しています。 「EC500 Disabled」というメッセージが 2 秒間表示されます。
タイマーは有効です (ランプは点滅)	設定されています	2 回	ランプは緑に点灯しています。 「EC500 Disabled」というメッセージが 2 秒間表示されます。

---

## 携帯電話で FNE を使用して Extension to Cellular の設定を解除する

携帯電話で FNE を使用して Extension to Cellular の設定を解除するには、次のように操作します。

1. PBX 外呼 (Off-PBX Call) 解除 FNE の電話番号をダイヤルします。  
確認トーンが聞こえます。
2. 電話を切ります。

注:

確認トーンが聞こえなかった場合は電話を切ります。入力したコードを確認して、ステップ 1 からやり直します。確認トーンが聞こえなかった場合は、システム管理者に連絡してください。

---

## 機能特番を使用して Extension to Cellular の設定を解除する

注:

ポケット リファレンス カードに設定解除の機能特番を記入しておくとう便利です。「83 ページの[「Extension to Cellular ポケット リファレンス カード」](#)を参照してください。

会社の電話機から Extension to Cellular の設定を解除するには、次のように操作します。

1. Extension to Cellular の設定を解除する機能特番をダイヤルします。  
ダイヤルトーンが聞こえます。  
会社の電話機から操作している場合は、次のステップを飛ばし、ステップ 3 へ進みます。
2. オフィスの電話機の内線番号を入力します。
3. シャープ (#) を押します。
4. 内線セキュリティ コードを入力します。
5. シャープ (#) を押します。  
Extension to Cellular の設定が解除されたことを示す確認トーンが聞こえます。
6. 電話を切ります。

注:

確認トーンが聞こえなかった場合は電話を切ります。入力したコードを確認して、ステップ 1 からもう一度やり直します。今度も確認トーンが聞こえなかった場合は、システム管理者に連絡してください。

Extension to Cellular の設定を解除した後は、オフィスの電話機に電話がかかっても、携帯電話の呼び出し音は鳴らなくなります。かかってきた電話に回答しなかった場合は、会社のボイス メール システムに送られます ([「第 3 章:「ボイスメール」](#)を参照)。オフィスの発信者 ID を

送信するように設定されている場合、この設定手順または解除手順を行っても変更はありません。携帯電話で電話を受けるようになるだけです。

---

## リモートの電話機を使用して Extension to Cellular の設定を解除する

注:

Extension to Cellular のアクセス番号や「設定解除」機能特番をポケット リファレンス カードに記入しておく便利です。「83 ページの[「Extension to Cellular ポケット リファレンス カード」](#)」を参照してください。

注:

リモートの電話機がオフィスの電話機にマッピングされていない場合は、以下の手順を実施することが必要です。リモートの電話機がオフィスの電話機にマッピングされている場合は、PBX 外呼 (Off-PBX Call) 解除 FNE の電話番号をダイヤルすることが必要です。

リモートの電話機から Extension to Cellular の設定を解除するには、次のように操作します。

1. リモートのタッチトーン電話機から、テレコミュータ番号をダイヤルします。

ダイヤルトーンが聞こえます。

2. Extension to Cellular の設定を解除する機能特番を入力します。

ダイヤルトーンが聞こえます。

3. オフィスの電話機の内線番号を入力します。

4. シャープ (#) を押します。

5. ステーションのセキュリティ コードを入力します。

6. シャープ (#) を押します。

Extension to Cellular の設定が解除されたことを示す確認トーンが聞こえます。

7. 電話を切ります。

注:

確認トーンが聞こえなかった場合は電話を切ります。入力したコードを確認して、ステップ 1 からもう一度やり直します。今度も確認トーンが聞こえなかった場合は、システム管理者に連絡してください。

Extension to Cellular の設定を解除した後は、オフィスの電話機に電話がかかっても、携帯電話の呼び出し音は鳴らなくなります。かかってきた電話に回答しなかった場合は、会社のボイスメール システムに送られます ([「第 3 章:「ボイスメール」](#)」を参照)。オフィスの発信者 ID を送信するように設定されている場合、この設定手順または解除手順を行っても変更はありません。携帯電話で電話を受けるようになるだけです。

---

## Extension to Cellular のタイマー オプションを使用する

Extension to Cellular のタイマー オプションは、オフィスの電話機に設定されている Extension to Cellular 機能に含めることができます。タイマー オプションを使用するには、以下のような設定になっている必要があります。

- Extension to Cellular の拡張機能が管理者によりオフィスの電話機で有効に設定されていること
- 会社の電話機が設定可能な機能ボタンをサポートしていること
- タイマー オプションが管理者により設定されていること

システム管理者に連絡して、タイマー オプションが利用可能であることを確認してください。

設定すると、タイマーは Extension to Cellular の設定を 1 時間 (60 分) 解除します。タイマーが終了すると、Extension to Cellular は再び自動的に設定されます。

注:

Extension to Cellular タイマーは、会社の電話機に設定される機能ボタンからしか開始できません。

---

## Extension to Cellular が現在設定されている場合に、タイマーを開始する

Extension to Cellular が現在設定されている場合、オフィスの電話機で設定された機能ボタンに対応するランプは、緑になっています。

**Extension to Cellular が現在設定されている場合に Extension to Cellular タイマーを開始するには、次のように操作します。**

Extension to Cellular 機能ボタンを押します。

- ランプは、緑が点灯した状態から、緑の点滅 (250 ミリ秒オン、750 ミリ秒オフ) に変わります。
- 電話機のディスプレイには「Extension to Cellular Timer Enabled (Extension to Cellular のタイマーが設定されました)」というメッセージが 2 秒間表示されます。

設定されると、タイマーは Extension to Cellular の設定を 1 時間解除します。1 時間経過後、操作しなくても Extension to Cellular は自動的に再び設定されます。

**Extension to Cellular タイマーを手動で終了させるには、次のいずれかを実行します。**

- Extension to Cellular 機能ボタンを 1 回押すと、タイマーが終了して、Extension to Cellular の設定が解除されます。
- Extension to Cellular 機能ボタンを 2 回押すと、タイマーが終了して、Extension to Cellular は再び設定されます。
- 電話機のキーパッドに Extension to Cellular を設定または解除する機能特番を入力します。

---

## **Extension to Cellular が現在解除されている場合に、タイマーを開始する**

Extension to Cellular が現在解除されている場合、オフィスの電話機で設定された機能ボタンに対応するランプは、オフになっています。

**Extension to Cellular が現在解除されている場合に Extension to Cellular タイマーを開始するには、次のように操作します。**

Extension to Cellular 機能ボタンを 2 回押します。

- ランプは緑の点滅 (250 ミリ秒オン、750 ミリ秒オフ) になります。
- 電話機のディスプレイには「Extension to Cellular Timer Enabled (Extension to Cellular のタイマーが設定されました)」というメッセージが 2 秒間表示されます。

**Extension to Cellular タイマーを手動で終了させるには、次のいずれかを実行します。**

- Extension to Cellular 機能ボタンを 1 回押すと、タイマーが終了して、Extension to Cellular は解除されたままです。
- Extension to Cellular 機能ボタンを 2 回押すと、タイマーが終了して、Extension to Cellular は再び設定されます。
- 電話機のキーパッドに Extension to Cellular を設定または解除する機能特番を入力します。

---

## セキュリティを管理する

会社の電話機が不正に使用されないよう、ほとんどのユーザーには内線セキュリティコードが割り当てられています。システム管理者は、Extension to Cellular ユーザー プロフィールを確立する際に内線セキュリティコードを割り当てます。割り当てられなかった場合は、Extension to Cellular を設定すると、会社の電話機と携帯電話の両方に使用できるデフォルトのコードが割り当てられます。内線セキュリティコードは、Extension to Cellular アクセス番号をダイヤルして、Extension to Cellular の拡張機能を設定または解除する場合に使用します。

### ⚠ 注意:

セキュリティに関する注意。たとえば、Extension to Cellular を設定した携帯電話で通話中に、誰かがオフィスの電話機をピックアップすると、ビープ音が聞こえます (システム管理者により設定されている場合)。Avaya ではセキュリティ対策として、誰かが通話に参加したことを Extension to Cellular ユーザーに知らせるためにこのビープ音を提供しています。オフィスの電話機または Extension to Cellular を設定した携帯電話が不正に使用されている疑いがある場合、ただちにコールを終了してください。

携帯電話を失くした場合または盗まれた場合は、内線セキュリティコードを速やかに変更してください。またシステム管理者に連絡して、Avaya Communication Manager を稼動しているサーバーでその電話機からの Extension to Cellular アクティビティをブロックしてもらってください。

追加のプライバシー対策が必要な場合には、システム管理者が Avaya のプライバシー機能を設定することも可能です。

---

## オフィスの電話ネットワークから内線セキュリティコードを変更する

### 注:

内線セキュリティコードは、システム管理者によって設定されている条件を満たすことが必要です。詳細は、システム管理者に確認してください。

オフィスの電話ネットワークから内線セキュリティコードを変更するには、次のように操作します。

1. システム管理者から知らされた内線セキュリティコード変更機能特番をダイヤルします。  
ダイヤルトーンが聞こえます。  
オフィスの電話機から、またはオフィスの発信者 ID を送信する携帯電話からこの手順を実施している場合は、次のステップをとばし、ステップ 3 へ進んでください。
2. オフィスの電話機の内線番号を入力します。
3. シャープ (#) を押します。
4. 現在の内線セキュリティコードを入力します。

5. シャープ (#) を押します。  
ダイヤル トーンが聞こえます。
6. 新しい内線セキュリティ コードを入力します。
7. シャープ (#) を押します。  
ダイヤル トーンが聞こえます。
8. ステップ 6 で入力したのと同じ内線セキュリティ コードを入力します。
9. シャープ (#) を押します。  
セキュリティ コードが変更されたことを示す確認トーンが聞こえます。
10. 電話を切ります。

注:

確認トーンが聞こえなかった場合は、電話を切って、入力したコードを確認し、ステップ 1 からやり直します。今度も確認トーンが聞こえなかった場合は、システム管理者に連絡してください。

---

## 内線セキュリティ コードをリモートで変更する

注:

内線セキュリティ コードは、システム管理者によって設定されている条件を満たすことが必要です。詳細は、システム管理者に確認してください。

リモートのタッチトーン電話機からセキュリティ コードを変更するには、次のように操作します。

注:

ポケット リファレンス カードに Extension to Cellular アクセス番号を記入しておくと便利です。「83 ページの[「Extension to Cellular ポケット リファレンスカード」](#)」を参照してください。

1. Extension to Cellular アクセス番号をダイヤルします。  
ダイヤル トーンが聞こえます。
2. システム管理者から知らされた内線セキュリティ コード変更機能特番を入力します。  
ダイヤル トーンが聞こえます。
3. オフィスの電話機の内線番号を入力します。
4. シャープ (#) を押します。
5. 現在の内線セキュリティ コードを入力します。
6. シャープ (#) を押します。  
ダイヤル トーンが聞こえます。

7. 新しい内線セキュリティ コードを入力します。
8. シャープ (#) を押します。  
ダイヤルトーンが聞こえます。
9. ステップ 7 で入力したのと同じ内線セキュリティ コードを入力します。
10. シャープ (#) を押します。  
セキュリティ コードが変更されたことを示す確認トーンが聞こえます。
11. 電話を切ります。

注:

確認トーンが聞こえなかった場合は、電話を切って、入力したコードを確認し、ステップ 1 からやり直します。今度も確認トーンが聞こえなかった場合は、システム管理者に連絡してください。

---

## Extension to Cellular コールから他者を排除する

「27 ページの[「携帯電話から オフィス電話機に切り替える」](#)」に説明されているように、携帯電話で Extension to Cellular コールを続けたまま会社に戻り、会社の電話機の回線表示 (ライン アピアランス) ボタンを押して、そのまま会社の電話機で通話を続けることが可能です。しかし、社内にいる人であればだれでも、回線表示ボタンを押して、この通話を聞くことができます。

排他機能を使用すると、通話のプライバシーが保たれるようになります。オフィスの電話機の機能ボタンまたは携帯電話から特定の FNE をダイヤルすると、この排他機能を手動で設定することができます。排他機能は、その内線に排他ボタンが設定されている場合、サービスクラス (COS) 指定により自動的に設定することも可能です。

通常、ユーザーはオフィスの電話機と携帯電話で同じ通話に出ることが可能です。排他機能が有効になると、この操作はブロックされます。オフィスの電話と携帯電話の両方が同じ通話に出ている場合、排他機能を有効にした電話機がもう一方の電話機 (およびブリッジ) をその通話から排除します。

排他機能は通話中にのみ適用します。通話が終了すると、排他機能は解除されます。システム管理者に連絡して、排他機能を使用できることを確認してください。

---

## オフィスの電話機の 機能ボタンを使用して排他機能を有効にする

通話中に会社の電話機の機能ボタンから排他機能を有効にするには、次のように操作します。

1. 電話機のキーパッドの排他機能ボタンを押します。通話中の電話は排他機能が有効になりました。
2. そのまま会話を続けてください。

---

## 携帯電話から 機能特番を使用して排他機能を有効にする

注:

排他 FNE をダイヤルするたびに、排他機能の状態は変化します。現在の状態に応じて、有効または無効になります。排他 FNE はトグル ボタンのように機能します。

通話中に、携帯電話から機能名拡張を使用して排他機能を有効にするには、次のように操作します。

1. 通話を保留にします。
2. 排他 FNE をダイヤルします。
3. 「Send」を押します。

通話中の電話は排他機能が有効になりました。

4. 通話に戻って、そのまま会話を続けます。

---

## オフィスの電話機の 機能ボタンを使用して排他機能を無効にする

排他機能を無効にするには、機能を有効にした電話機を使用することが必要です。

通話中にオフィスの電話機の機能ボタンから排他機能を無効にするには、次のように操作します。

1. 電話機のキーパッドの排他機能ボタンを押します。

通話中の排他機能は無効になりました。

2. そのまま会話を続けてください。

---

## 携帯電話から 機能特番を使用して排他機能を無効にする

排他機能を無効にするには、機能を有効にした電話機を使用することが必要です。

注:

排他 FNE をダイヤルするたびに、排他機能の状態は変化します。現在の状態に応じて、有効または無効になります。排他 FNE はトグル ボタンのように機能します。

通話中に、携帯電話から機能名拡張を使用して排他機能を無効にするには、次のように操作します。

1. 通話を保留にします。
2. 適切な FNE をダイヤルします。
3. 「Send」を押します。  
通話中の排他機能は無効になりました。
4. 通話に戻って、そのまま会話を続けます。

## 第 5 章 : チェックポイントとトラブルシューティング

この章には、使用方法のヒントや Extension to Cellular ユーザーのよくある質問の回答が記載されています。ここで紹介されている以外の質問がある場合、システム管理者または携帯電話のサービスプロバイダにお問い合わせください。

表 3 : トラブルシューティングのチェックポイント

状況	考えられる原因	対策
発信側の発信者 ID が携帯電話に表示されません。	携帯電話のサービスプロバイダが発信者 ID を送信していません。	携帯電話のサービスプロバイダに確認してください。
	発信者の電話番号がブロックされています。	対策はありません – 発信者が自分の番号をブロックしています。
	外部のネットワークが、発信者 ID 情報をスイッチに送信していません。	対策はありません。
	携帯電話のサービスプロバイダが 10 桁未満の番号 (たとえば、5 桁の内線) を認識していない可能性があります。	システム管理者に相談し、10 桁未満の ID を許可するオプションを検討してください。
通話中に接続が失われます。	ビル内または携帯電話のネットワーク障害。サービスエリア外。	オフィスにいる間に接続が失われた場合は、数秒以内に会社の電話機をピックアップし通話を続けることができます。 分散型アンテナシステムは、オフィス内の障害を軽減または排除しますが、携帯電話のネットワーク障害は通常自動的になくなります。
国外に出張中、携帯電話で Extension to Cellular が機能しません。	Extension to Cellular は世界中で機能できますが、グローバルセルラーカバレッジプランサービスに申し込んでいることと、デュアルモードまたはトライモードの電話機が必要です。	グローバルワイヤレス電話機を持っていない場合は、出張先のエリアのローカル基準内で機能するデジタル携帯電話を借りてください。 システム管理者に連絡して、Extension to Cellular を介してレンタルの携帯電話番号にかかってくる電話をブリッジしてもらいます。 レンタル電話機を使用しなくなったら、必ず、レンタル電話機へのブリッジを削除してください。

1/6

表 3 : トラブルシューティングのチェックポイント (続き)

状況	考えられる原因	対策
ACD (自動着信分配)、CFwd (不在転送)、離席機能などの機能特番は Extension to Cellular では機能しません。	携帯電話は、Avaya (Extension to Cellular 以外) テレコミュティング サービス プランからアクセス可能な場合を除き、電話機のスイッチ機能を有効にすることはできません。	テレコミュティング ユーザーとして登録されている場合、Extension to Cellular 以外の機能特番を使用できません。詳細は、システム管理者に連絡してください。
Extension to Cellular を設定した携帯電話で電話を受けられません。	携帯電話のサービス エリア (ローミング) 外です。	かかってくる電話が自動的にボイス メール システムへ転送されます。
	携帯電話の電源が切れているか、電池が消耗している場合があります。	携帯電話の電源を入れるか、バッテリーを交換または充電します。
	Extension to Cellular の設定が解除されている可能性があります。	標準のダイヤルアップ手順、または会社の電話機に設定された機能アクセス ボタンを使用して、Extension to Cellular の設定を有効にします。
	オフィスの電話機で離席機能が機能して、かかってくる電話がカバレッジに送られます。	離席機能をキャンセルします。
	かかってくる電話が、直接ボイス メールへ送られます。	システム管理者に連絡して、ボイス メールに送られる前に呼び出し音が鳴る回数が、着呼より優先されていないことを確認してください。
	携帯電話が「スリープ」モードになっています。	携帯電話によっては、電話をかける前または受ける前に「ウェイクアップ」する必要があります。携帯電話から電話をかけるか、別の電話機から携帯電話に電話をかけて、「ウェイクアップ」します。バッテリーを入れ直すと、携帯電話がアクティブになる場合もあります。
	かかってきた電話が会社のボイス メールヘルディングされるのは、携帯電話のサービス プロバイダのネットワークのルーティングや携帯電話の検索に時間がかかっているからです。	システム管理者に連絡して、オフィスの電話機で呼び出し音が鳴る回数を増やしてもらい、携帯電話のネットワークでルーティングする時間を長くします。

表 3 : トラブルシューティングのチェックポイント (続き)

状況	考えられる原因	対策
Extension to Cellular を設定した携帯電話で電話を受けられません (続く)。	携帯電話のネットワークは、大量の通信が発生してネットワークが混雑している場合があります。このような場合には、Extension to Cellular コール (または通常の携帯電話の着信) を携帯電話で応答することができなくなります。かかってきた電話は、そのまま携帯電話のボイスメールへ送られます。	混雑が緩和し、携帯電話のサービスプロバイダの機能が回復すると、通常どおり電話がかかってくるようになり、Extension to Cellular コールは携帯電話に着信するようになります。ネットワークの混雑状態が長引く場合、対策としては、Extension to Cellular を無効にすると、不応答呼は会社のボイスメールシステムへ送られるようになります。
	Communication Manager を稼働している Avaya サーバーでのスイッチ関連障害です。	システム管理者に連絡し、問題がスイッチに関連するものであることを確認してください。
	その着信呼は、携帯電話に転送することができないタイプです (つまり、その通話タイプは制約されています)。	受けていない特定の呼に対して、条件付呼拡張を解除していないか確認します。解除していた場合または制約されている場合は、条件付呼拡張を使用し有効に設定します。
機能名拡張をダイヤルする場合、他の機能が起動されます。	ダイヤルした FNE が間違っています。	もう一度かけてください。
	管理者から聞いた番号が間違っている可能性があります。	システム管理者に連絡して、必要な機能の正しい番号であることを確認します。
オフィスの発信者 ID を送信するように設定されている Extension to Cellular を設定した携帯電話から電話をかけても、着信側の電話に発信者の名前とオフィスの発信者 ID が表示されません。	電話をかけた電話番号は、会社の電話システムに含まれていません (つまり、その番号はホームスイッチ上で有効な番号ではない)。	オフィスの発信者 ID を送信できるのは、同じスイッチを共有する会社の電話システム内の電話機に限定されます。オフィスの発信者 ID は、使用している電話機のネットワーク以外では機能しません。
	オフィスの発信者 ID を送信するように正しく設定されていない場合があります。	システム管理者に連絡して、発信者 ID の設定が正しいことを確認してください。

表 3 : トラブルシューティングのチェックポイント (続き)

状況	考えられる原因	対策
FNE が機能しません。	オフィスの発信者 ID を送信するように正しく設定されていない場合があります。	システム管理者に連絡して、発信者 ID の設定が正しいことを確認してください。
	Extension to Cellular の電話番号が正しく管理されていません。	システム管理者に連絡して、発信者 ID の設定が正しいことを確認してください。
ボイス メール メッセージが設定したボイス メール システムに送られません。	<p>セルラー ボイス メール回避が設定されていません。</p> <p>Extension to Cellular ユーザーとして、ビジネスメッセージを受信するボイス メール システム (オフィスの電話機または携帯電話) を選択します。選択したシステムが最初にメッセージをピックアップするように、システム管理者は、この機能を有効にするか、または、会社のボイス メールシステムで応答する前に呼び出し音を鳴らす回数を調整します。</p>	<p>システム管理者に連絡して、オフィスの電話機のセルラー ボイス メール回避をオンにしてもらいます。</p> <p>セルラー ボイス メール回避が有効になっていると、Communication Manager は、不応答呼がシステムのボイス メール (たとえば、オフィスの電話機)、または携帯電話のサービスプロバイダのボイス メール システムのどちらかに送られるかどうかを決定します。この機能を有効にしておくと、かかってくる電話は、サーバー上の会社のボイス メール システムで処理されます。</p> <p>携帯電話のサービス プロバイダに連絡して、不応答呼が携帯電話のボイス メール システムに送られる前に呼び出し音を鳴らす回数を確認してください。次に、システム管理者にも同じことを確認し、会社のボイス メールが応答する前に呼び出し音を鳴らす回数を調整して、選択したシステムが最初にメッセージをピックアップできるようにします。</p> <p>呼び出し音の回数を調整したにもかかわらず、選択したシステムがメッセージを受け取る前に、メッセージが特定のシステムに送られる場合もあります。たとえば、Avaya 通信システムは多くの場合、オフィスの電話番号にかかってくる電話が直接カバー電話機に送られる離席機能などのカバレッジ オプションを提供しています。このような場合、Extension to Cellular メッセージを受けるとしてセットアップされていても、発信者は携帯電話のボイス メール システムにメッセージを残すことはできなくなります。</p>

表 3 : トラブルシューティングのチェックポイント (続き)

状況	考えられる原因	対策
ボイス メール メッセージが選択したボイス メール システムに送られません (続く)。	かかってきた電話がすべてカバレッジ ポイント (または会社のボイス メールボックス以外) に送られます。	離席機能が有効になっていないか確認します。必要な場合はこの機能をキャンセルします。
	携帯電話のネットワークは、大量の通信が発生して混雑している場合があります。携帯電話のネットワークの混雑により、携帯電話のサービス プロバイダは、携帯電話にかかってくる電話 (ならびに Extension to Cellular コール) を携帯電話に送るチャンネルが十分に確保できない場合があります。このため、かかってきた電話は、そのまま携帯電話のボイスメールへ送られるようになります。	混雑が緩和すると、かかってきた電話は、通常のセルラー チャンネルから、携帯電話へ送られるようになります。この混雑期間が通常よりも長引き、不応答呼が携帯電話のボイスメールに送られないようにしたい場合は、短期間だけ Extension to Cellular を無効にすることもできます。不応答呼が携帯電話のボイスメールに送られてもかまわない場合は、携帯電話のボイスメールを時々チェックして、ビジネスコールのメッセージが残されていないか確認することを忘れないようにします。
	オフィスの電話回線がすべて使用中 (ビジー、アクティブ) で、かかってきた電話がそのまま会社のボイスメールへ直接送られる場合があります。その場所で携帯電話のサービスが利用できないために、ボイスメッセージが、会社のボイスメール システムではなく、携帯電話のボイスメールに自動的に送られる場合もあります。	全回線が使用中の場合 (または携帯電話のサービスが利用できない場合)、メッセージの配信は一時的な状態です。回線 (または携帯電話のサービス) が利用可能になると、選択したボイスメール システムにピックアップされるようになります。
オフィスの電話機から、通話中の Extension to Cellular 携帯電話のコールにアクセスできません。	この携帯電話の通話 (各通話ベース) に排他機能が有効に設定されている場合があります。	排他機能を有効に設定した電話機で、この機能を解除します。
	排他機能は、すべての通話に有効に設定される場合があります。	システム管理者に連絡して、すべての通話に対して設定されている排他機能を無効にしてもらいます。

表 3 : トラブルシューティングのチェックポイント (続き)

状況	考えられる原因	対策
携帯電話で応答すると、通話が切断(ドロップ)します。	セルラー ボイスメール回避には、応答までの時間が短すぎると通話を切断するオプションがあります。	応答する前に必ず数秒待つようにするか、管理者にセルラー ボイスメール回避機能を解除してもらいます。
Extension to Cellular を設定した携帯電話で応答すると、ダイヤルトーンが聞こえます。	Extension to Cellular コールで確認応答が設定されています。	携帯電話に回答してダイヤルトーンが聞こえた場合は、携帯電話の数字をどれか押してから、Extension to Cellular コールを受けてください。
Extension to Cellular が機能しません。	EC500 がアナログ トランクで設定されています	EC500 はアナログ トランクでは機能しません。EC500 は ISDN、H.323、SIP トランクをサポートします。高機能のデジタル式マルチ周波数 (MFC) シグナリング トランクもサポートします。システム管理者に連絡してください。

6/6

## 付録 A : 機能名内線番号

新たな機能名内線番号または機能特番のいずれかにダイヤルすると各機能が呼び出されます。また、各機能は主要セット上のボタンか、もしくは利用可能な機能にそれぞれ設定された FNE にマッピングできます。アクティブな通話を保留状態にし、特別な DID 番号に続けて FNE または FAC をダイヤルしたうえで、以下を行ってください。

- SAC のようにボタン 1 つで呼び出し可能な機能の場合は、確認トーンが聞こえたら電話を切ってください。SAC が主要ステーション上で起動します。
- [直前にダイヤルした番号] のように発信を伴う機能の場合はまずコール プログレス トーンが聞こえ、その後主要ステーションまたは最後に主要ステーションとして認識されたステーションから最後に発信した番号に接続します。
- 主要ステーションと携帯電話の両方から発信があった場合は、実際に最後にダイヤルした番号が「最後に発信した番号」とみなされます。
- [電話転送] のように発信音が発生する機能を使用した場合、またはアイドル状態のコール アピアランスを選択した場合は、発信音が聞こえたら目的の番号をダイヤルすると、最後に確認トーンが聞こえます。

この付録では、Communication Manager Extended Access で利用可能なすべての FNE をリストアップしています。

---

### Active Appearance Call Select FNE

主要デスク フォンでアクティブまたは呼び出し中の通話がある場合、この機能を使うと通話 / 着信がカバレッジに転送される前に固定電話以外の電話 (携帯電話など) で電話を受けることができます。

**携帯電話から発信する場合 :**

1. Active Appearance Call Select FNE にダイヤルします。
2. デスク フォンでアクティブ / 呼び出し中の通話が転送されます。

---

## Automatic Call Back Cancel FNE

ダイヤルした相手が話中または不応答の場合に [自動コールバック] 機能を有効にすると、相手側が着信可能になった時点で自動的にコールバックされます。

携帯電話からの自動コールバックをキャンセルするには、次の作業を行ってください。

1. Call Back Cancel FNE にダイヤルします。  
確認トーンが聞こえます。

---

## Call Unpark FNE

別の内線番号で保留状態になっている通話をアクティブに戻すための FNE です。エンドポイントは保留中の通話に接続されます。この機能の ACM での正式名は、Answer Back (アンサーバック) です。

携帯電話から発信する場合：

1. Call Unpark FNE 番号にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. 内線番号を入力します。  
通話が可能になります。

---

## Call Pickup Extended Group FNE

Call Pickup Extended Group FNE を使うと、別のピックアップグループ内の着信に直接応答できます。この機能を利用するには、自分の番号がコールピックアップグループおよび Extended ピックアップグループ、発信者のステーション内に設定されている必要があります。

同じ拡張ピックアップグループ内のステーションからの着信に応答するには、以下の作業を行ってください。

1. 携帯電話から Call Pickup Extended Group FNE にダイヤルします。発信音が聞こえます。
  2. ピックアップ番号 (ピックアップグループ番号ではありません) にダイヤルします。
- この機能の詳細については、担当のシステム管理者にお問い合わせください。

---

## Conditional Call Extend Enable FNE

この FNE を使うと、条件付き電話転送張設定を有効にできます。

**携帯電話からダイヤルする場合：**

1. Conditional Call Extend Enable FNE にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. 通話タイプの設定シーケンスを入力します。通話タイプの設定シーケンスの詳細については「[通話を制限する](#)」を参照してください。
3. シャープ (#) を押します。  
確認トーンが聞こえます。[Extension to Cellular] 機能により特定の通話が転送されます。

---

## Conditional Call Extend Disable FNE

この FNE を使うと、[Conditional Call Extending] 機能を無効化できます。

**お使いの携帯電話または off-pbx 電話機からダイヤルする場合は、**

1. Conditional Call Extend Disable FNE の電話番号にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. 通話タイプの設定シーケンスを入力します。通話タイプの設定シーケンスの詳細については「[通話を制限する](#)」を参照してください。
3. シャープ (#) を押します。

確認トーンが聞こえます。[Extension to Cellular] 機能による特定の通話が転送がストップします。

---

## Conference on Answer

ステーションですでに通話中の状態でこの FNE を使うと、その通話にもう 1 人を参加させ会議通話を行うことができます。

**携帯電話から発信する場合：**

1. Conference on Answer FNE のにダイヤルします。  
発信音が聞こえます。

2. もう 1 人の参加者の電話番号をダイヤルします。  
電話番号が有効であれば、確認トーンが聞こえます。電話番号が無効であれば、遮断トーンが聞こえます。
3. もう 1 人の参加者から応答があれば、その人物が自動的に会議通話に追加されます。
4. 上記の手順を 4 回繰り返すことで、最大 6 人を交えた会議通話が可能です。1 人目の参加者が応答して会議通話に参加するまで、次の参加者を追加することはできません。

---

## Conference Complete FNE

この FNE を使うと、アクティブな通話と保留中の通話をまとめて会議通話にすることができます。

アクティブな通話とこれに関連する保留中の通話がある場合、Conference Complete FNE にダイヤルするとこの 2 つの通話をまとめて会議通話にすることが可能です。

携帯電話での通話中に着信してきた人物を会議通話に追加するには、以下の作業を行ってください。

1. 現在アクティブな状態の通話を保留にします。
2. Recall FNE を使って会議通話に追加したい相手との通話を開始します。  
最初にアクティブであった通話が携帯電話上で切断され、オフィスの電話機上で保留状態になります。
3. 2 人目の参加者との通話を携帯電話上で保留にし、Conference Complete FNE にダイヤルします。  
確認トーンが聞こえたら、携帯電話上の最初の通話に会議通話が作成されます。
4. 上記の手順を 4 回繰り返すことで、最大 6 人を交えた会議通話が可能です。

---

## Drop FNE

通話を切断するための機能です。自動保留状態の通話を切断したり、会議通話に最後に追加した人物との通話を切断したりできます。

**携帯電話から発信する場合：**

1. Drop FNE の電話番号にダイヤルします。  
切断前に通話していた相手が 1 人であった場合は発信音が聞こえ、会議通話中であれば最後に追加した人物を除いた状態で通話が継続されます。

---

## Exclusion FNE

マルチアピランス電話機のユーザーは、Exclusion FNE を使って同じ内線番号のアピランスを持つ他のユーザーが既存の通話にブリッジするのを防ぐことができます。他のユーザーがすでに通話にブリッジしている状態で [Exclusion] ボタンを押すと、別のユーザーとの通話が切断されます。[Exclusion] 機能を使用するには、デスクフォン上で事前にボタンを設定する必要があります。

[Exclusion] 機能を起動させるには以下のいずれかの作業を行ってください。

- **Manual Exclusion:** 通話中に [Exclusion] ボタンを押します。これは通話ごとの機能になります。
- **Automatic Exclusion:** ステーションで [Exclusion] ボタンが設定されていれば COS が自動で起動します。★すべての通話に対し [Exclusion] 機能が有効になります。通話ごとにこの機能を無効化するには、[Manual Exclusion] 機能を使用します。

**携帯電話から発信する場合：**

1. 電話をかけて保留状態にします。
2. 携帯電話から Exclusion FNE にダイヤルします。
3. デスクフォンで通話中であった場合はその通話が切断され、呼び出し中であった場合は着信がブロックされます。

携帯電話と関連するデスクフォンの通話がどちらもアクティブである場合は、[Exclusion] 機能が有効化されている電話が別の通話とブリッジを切断します。

---

## Held Appearance Select FNE

この機能を使うと、主要ステーションで保留状態になっている通話に固定電話以外の電話機で応答することができます。複数の通話が保留状態にある場合は、コール アピランスが最も古いものから順に接続されます。

**携帯電話から発信する場合：**

1. Held Appearance FNE にダイヤルします。
2. 応答があれば音声パスが接続されますが、通話中のその他の人物には更新情報が表示されることはありません。この通話は会議通話のエンドポイント合計数には含まれないため、その制限値には影響しません。この操作により通話参加者の合計数上限を上回るようであれば、通話の処理は行われません。

---

## Idle Appearance Select FNE

この機能を使うと、主要ステーションでアイドル状態のコール アピランスに携帯電話を使って応答することができます。

**携帯電話から発信する場合：**

1. Idle Appearance FNE にダイヤルします。
2. 応答があれば発信音が聞こえます。目的の電話番号をダイヤルします。

---

## Off-PBX Call Enable FNE

この FNE を使うと、Extension to Cellular 通話を携帯電話などの固定電話以外の電話機に転送することができます。

**固定電話以外の電話機から発信する場合：**

1. Off-PBX Call Enable FNE にダイヤルします。  
確認トーンが聞こえます。

---

## Off-PBX Call Disable FNE

この FNE を使うと、Extension to Cellular 通話を携帯電話などの固定電話以外の電話機に転送する機能を無効化することができます。

**固定電話以外の電話機から発信する場合：**

1. Off-PBX Call Disable FNE にダイヤルします。  
確認トーンが聞こえます。

---

## MCT ( 悪意呼追跡 )

マリシャスコール MCT ( 悪意呼追跡 ) アクティベーションが、迷惑電話などの番号を追跡するよう MCT ( 悪意呼追跡 ) コントロール内線番号に指令を送ります。また、システムに MCT ボイス レコーダが搭載されている場合は、MCT が起動すると通話の録音が開始されます。

**携帯電話から発信する場合：**

1. 電話をかけて保留状態にします。
2. MCT ( 悪意呼追跡 ) FNE にダイヤルします。  
確認トーンが聞こえます。

**携帯電話から MCT をキャンセルするには以下の作業を行ってください。**

1. Malicious Call Trace Cancel FNE 番号にダイヤルします。  
確認トーンが聞こえます。

---

## Priority Call FNE

[Priority Call] 機能を使って通話に優先順位を付けることができます。

**携帯電話から発信する場合：**

1. Priority Call FNE にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. 電話を掛けます。

---

## Recall FNE

この FNE を使うと、これまでアクティブだった通話が保留状態になり、保留状態にあった通話が接続されます。

アクティブな通話とそれに関連する保留中の通話がある場合、Recall FNE 番号にダイヤルするとアクティブな通話が保留状態になり、これまで保留状態にあった通話が接続されます。保留中の通話は携帯電話から切断され、オフィスの電話機に引き継がれて保留状態になります。

保留中の通話がなくアクティブな通話のみがある状態で Recall FNE 番号にダイヤルすると、アクティブな通話が保留状態になり発信音が聞こえます。番号を押して発信するか、または通話を切断します。切断した場合も最初の通話は保留状態のままですが、Held Appearance Select FNE を使うとこの通話を再びアクティブにすることができます。

**注：**

[long hold recall timer] 機能が設定されていると、制限時間が切れた時点で保留状態の通話が携帯電話に呼び出しを行います。

---

## Send All Calls enable FNE

この機能を使うと、割り当てられたコール カバレッジ リダイレクト条件にかかわらず、デスクフォンおよび携帯電話宛ての着信すべてを一時的にカバレッジに送信させることができます。

**携帯電話から発信する場合：**

1. SAC enable FNE にダイヤルします。  
確認トーンが聞こえます。

---

## Send All Calls disable FNE

[Send All Calls] 機能を無効化します。

**携帯電話から発信する場合：**

1. SAC disable FNE にダイヤルします。  
確認トーンが聞こえます。

---

## Transfer Complete FNE

保留中の通話をアクティブな通話へと転送することができます。

アクティブな通話とこれに関連する保留中の通話がある場合、Transfer Complete FNE にダイヤルすると保留中の通話がアクティブな通話に転送されます。

**呼び出し中の着信を別の人物に転送するには以下の作業を行ってください。**

1. 現在アクティブな状態の通話を保留にします。
2. Recall FNE を使って、2 人目の人物との通話を開始します。  
1 人目の人物との通話は携帯電話から切断され、オフィスの電話機に引き継がれて保留状態になります。
3. 2 人目の通話を携帯電話で保留状態にし、Transfer Complete FNE にダイヤルします。  
確認トーンが聞こえ、通話が転送されます。

---

## Transfer on Hang Up FNE

ステーションですでに通話中の場合は、この FNE を使って別の人物に通話を引き継ぐこともできます。

### 携帯電話から発信する場合：

1. Transfer on Hang Up FNE にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. 2 つ目の電話番号を入力します。
3. 電話番号が有効であれば、通常のコール プログレス トーン ( 呼び出し音 ) が聞こえます。電話番号が無効であれば、遮断トーンが聞こえます。
4. 有効な電話番号にダイヤルした後は、携帯電話でこの両方の通話を同時に切断すると、転送作業が行われます。

操作上では、転送ボタンを 1 回押すとすべての通話が切断されることとなります。2 つの通話の切断にかかった時間は交換機により計測され、これがどちらも 1 秒以内であった場合は同時切断とみなされます。1 つの通話のみが切断されると、もう一方の通話は交換機に接続されたままの状態になります。

---

## Transfer to Voice Mail FNE

### [Transfer to Voice Mail] 機能の使用例

- 通話中に別の着信があった場合、この機能を使うとその発信者をボイス メールまたは主要ステーションのボイス メールに引き継ぐことができます ( カバーされている場合 )。
- 初めてオフフックになったユーザーが Transfer to Voice Mail FNE にダイヤルすると、カバレッジパス内で設定されたボイス メールに接続されます。また、Transfer to Voice Mail 機能特番にダイヤルしても同様の結果が得られます。

### 携帯電話から発信する場合：

1. 電話に应答するか、またはオフフックに切り替えます。
2. Transfer to Voice Mail FNE にダイヤルします。
3. 操作が有効であれば確認トーンが、それ以外の場合は遮断 / リオーダー トーンが聞こえます。
4. ボイス メールで应答した場合、相手には通常の应答メッセージが流れます。

---

## Whisper Page Activation FNE

[Whisper Page Activation] 機能を使うと、ウィスパー ページを送信することができます。ウィスパー ページとは、別の内線で通話中の相手に送信するソフト ボイス メッセージのことです。メッセージは送信相手のみに届き、通話中の別の人物に聞こえることはありません。

### 携帯電話から発信する場合：

1. Whisper Page Activation FNE にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. ウィスパー ページを送信する目的の電話番号をダイヤルします。
3. 相手側でアクティブになっている通話に自動接続されます。
4. 目的の相手に話しかけることができます。相手の人物には、あなたの声だけでなく通話中の別の相手の声も聞こえます。

---

## コール パーク FNE

現在の通話を保留状態にして、他の電話機からその通話に応答することができます。この FNE を有効にするにはコール パーク FAC が設定されている必要があります。

### 携帯電話から発信する場合：

1. 電話をかけて保留状態にします。
2. コール パーク FNE の電話番号にダイヤルすると、お使いのステーション上で通話が保留状態になります。  
確認トーンが聞こえます。

---

## コール ピックアップ グループ FNE

コール ピックアップ グループ機能を使うと、自分のピックアップ グループ内の内線にかかってきた電話に応答することができます。

### 携帯電話から発信する場合：

1. この機能を利用するには、自分の番号がコール ピックアップ グループに設定されている必要があります。  
グループ内の別の番号に着信があった場合、

2. 呼び出し中にコール ピックアップ グループ FNE の電話番号をダイヤルします。  
通話が可能になります。

---

## 指定コール ピックアップ FNE

指定コール ピックアップを使うと、ピックアップ グループ以外のユーザーであっても、グループ内の別の内線番号への着信に応答できます。

**携帯電話から発信する場合：**

1. グループ内の別の番号に着信があった場合、
2. 指定コール ピックアップ FNE の電話番号をダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
3. ステーションの内線番号を入力します。  
通話が可能になります。

---

## 自動コールバック

ダイヤルした相手が話中または不応答の場合に [自動コールバック] 機能を有効にすると、相手側が着信可能になった時点で自動的にコールバックされます。

**自分の携帯電話からサーバー上の別の人物に発信したときに [自動コールバック] 機能を有効化するには、以下の作業を行ってください。**

1. 自分がマッピングされているサーバー上で、いずれかのステーションの内線番号にダイヤルします。
2. 不応答であった、またはビジー トーンが聞こえた場合は電話を切ります。
3. 自動コールバック FNE にダイヤルします。
4. 確認トーンが聞こえたら電話を切ります。
5. 相手側の電話が着信可能な状態になると、携帯電話およびオフィスの電話にアラートが送信されます。
6. 携帯電話で応答すると呼び出し音が聞こえます。
7. 前回ダイヤル時に話中だった人物がアラートを受け取り、電話に応答します。

---

## 直前にダイヤルした番号 FNE

ステーションから最後にダイヤルした番号を割り出します。

**携帯電話から発信する場合：**

1. 直前にダイヤルした番号 FNE にダイヤルします。  
直前にダイヤルした番号が呼び出し中になります。

---

## 電話転送の無効化

[不在転送] または [不応答転送] 機能を無効化するための FNE です。

**携帯電話から発信する場合：**

1. 電話転送の無効化 FNE 番号にダイヤルします。  
確認トーンが聞こえます。

---

## 発信者番号通知 FNE

発信者番号通知 FNE にダイヤルすると、発信者番号 (CPN) ブロック機能を無効化し、1つの通話に対して CPN を送信することができます。この操作を行うには、発信時に ANI を送信しないよう設定されている必要があります。

**携帯電話から発信する場合：**

1. 発信者番号通知 FNE にダイヤルすると、そのステーションに発信者 ID が通知されるようになります。  
発信音が聞こえます。
2. 目的の電話番号にダイヤルします。

---

## 発信者番号非通知 FNE

[発信者番号非通知] 機能を使うと、1つの通話に対し発信者番号の送信を阻止できます。発信者番号非通知 FNE は、携帯電話がマッピングされたコール サーバー以外のコール サーバー上のステーションへの着信のみに使用してください。

**携帯電話から発信する場合：**

1. 発信者番号非通知 FNE にダイヤルすると、表示インジケータを制限したステーションへの発信者 ID の通知をブロックできます。  
発信音が聞こえます。
2. 目的の電話番号にダイヤルします。

---

## 不応答転送 FNE

内線が話中の場合または電話に応答できない場合に転送機能を有効にするための FNE です。

**携帯電話から発信する場合：**

1. 不応答転送 FNE にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. 電話の転送先となるもう 1 つの電話番号を入力します。  
確認トーンが聞こえます。

---

## 不在転送 FNE

この FNE を使って [不在転送] 機能を有効にします。

**携帯電話から発信する場合：**

1. 不在転送 FNE にダイヤルします。  
発信音が聞こえます。
2. 電話の転送先となるもう 1 つの電話番号を入力します。  
確認トーンが聞こえます。



# 索引

## 記号

「Notify Me」. . . . . 43

## E

Extension to Cellular	
解除	45
機能特番 (FAC) から	50
リモート	51
機能概要	8
機能特番 (FAC)	12
機能名拡張 (FNE)	12
機能ボタン	45, 49
設定	45
機能特番 (FAC) から	47
アクセス番号から初めて使用	22
リモート	47
内線セキュリティコードを変更する	54
内線セキュリティコードをリモートで変更する	55
排他	
機能名拡張から解除する	58
機能名拡張から設定する	57
機能ボタンから解除する	57
機能ボタンから設定する	56
アクセス番号	11
セキュリティ	54
セキュリティ管理	45
タイマー	52
Extension to Cellular を解除中に使用	53
Extension to Cellular を設定中に使用	52
とボイス メール	42
ポケット リファレンス カード	83
Extension to Cellular 設定	
機能特番から (FAC)	47
アクセス番号から初めて	22
Extension to Cellular タイマーを使用する	52, 53
Extension to Cellular の解除	
機能特番 (FAC) から	50
機能ボタンから	49
リモート	51
Extension to Cellular の設定	
機能ボタンから	45
リモート	47
Extension to Cellular へようこそ	7
Extension to Cellular をリモートで解除する	51
Extension to Cellular をリモートで設定する	47

## F

FNE	
PBX 外呼 (Off-PBX Call) 解除 FNE	70
PBX 外呼 (Off-PBX Call) 設定 FNE	70
可変不在転送 FNE	77
会議完了 FNE	68
指定コール ピックアップ FNE	75
自動コールバック/コールバック キャンセル FNE	75
条件付呼拡張設定 FNE	67
条件付呼拡張設定解除 FNE	67
切断 (ドロップ) FNE	68
直前にダイヤルした番号 FNE	76
転送完了 FNE	72
転送設定解除	76
排他 FNE	69
発信者番号ブロック FNE	76
発信者番号ブロック解除 FNE	76
保留状態アピアランス セレクト FNE	69
保留なしのカンファレンス	67
優先コール FNE	71
離席機能解除 FNE	72
離席機能設定 FNE	72
話中/不応答転送 FNE	77
アイドル状態アピアランス セレクト FNE	70
アクティブ アピアランス コール セレクト FNE	65
ウィスパーページの起動 FNE	74
コール パーク FNE	74
コール パーク解除 FNE	66
コール ピックアップ グループ FNE	74
コール ピックアップ拡張グループ FNE	66
ハングアップによる転送 FNE	73
ボイスメールへの転送 FNE	73
マリシャス コール トレース (悪意呼追跡) FNE	70
リコール FNE	71
FNE リスト	65

## I

IAS FNE. . . . . 70

## M

MS Exchange . . . . . 43

## S

SAFE (自己管理機能特番を参照してください). . . . . 12

---

## T

Trunk . . . . . 64

---

## U

Unified Messenger™ . . . . . 43

---

## あ

アクセスコード . . . . . 11  
アクセス番号 . . . . . 11  
アプリケーション-番号 . . . . . 30

---

## お

オフィスから携帯電話へ切り替える . . . . . 29  
オフィスの発信者 ID を送信 . . . . . 26  
オプションのタイマー . . . . . 52  
    Extension to Cellular を解除中に使用 . . . . . 53  
    Extension to Cellular を設定中に使用 . . . . . 52

---

## か

会議完了 . . . . . 68  
会社のボイス メール . . . . . 41  
確認応答 . . . . . 25

---

## き

機能特番(FAC) . . . . . 12  
機能特番 (FAC) 設定 . . . . . 12  
機能特番 (FAC) 設定解除 . . . . . 12  
機能名拡張(FNE) . . . . . 12  
機能名拡張リスト . . . . . 65

---

## け

携帯電話からオフィスの電話機へ切り替える . . . . . 27

---

## こ

コール タイプ設定順序 . . . . . 30  
コールウェイティング . . . . . 27  
コールの発信元 CDR . . . . . 11  
このガイドについて . . . . . 9

---

## し

自己管理機能特番 (SAFE) . . . . . 12  
条件付呼拡張設定解除 . . . . . 67  
条件付呼拡張設定 . . . . . 67

---

---

## せ

セキュリティの管理 . . . . . 45, 54  
    内線セキュリティ コードを変更  
        リモート . . . . . 55  
        内線セキュリティ コードを変更する . . . . . 54  
設定された機能ボタン . . . . . 45, 49  
セルラー ボイス メール回避 . . . . . 42

---

## た

タイマー機能 . . . . . 52  
    設定 . . . . . 52, 53

---

## ち

チェックポイント . . . . . 59-64  
着呼と発呼 . . . . . 25, 29  
    発信者 ID . . . . . 26

---

## て

転送完了 . . . . . 72

---

## と

トラブルシューティング . . . . . 59-64  
    Extension to Cellular は国外にいる間携帯電話で  
        機能しません . . . . . 59  
    FNE の間違い . . . . . 61  
    一部の機能特番が機能しません . . . . . 60  
    着信呼を受けられません . . . . . 60  
    発信者 ID が表示されません . . . . . 61  
    発信側の発信者 ID が表示されません . . . . . 59  
    セルラー ボイス メール回避 . . . . . 62  
    ボイス メール メッセージが違うシステムへ送ら  
        れます . . . . . 62  
トラブルシューティング  
    接続が失われます . . . . . 59

---

## な

内線セキュリティ コードをリモートで変更する . . . . . 55  
内線セキュリティ コード  
    変更 . . . . . 54  
    リモートで変更 . . . . . 55

---

## は

排除  
    機能名拡張から解除する . . . . . 58  
    機能名拡張から設定する . . . . . 57  
    機能ボタンから解除する . . . . . 57

---

機能ボタンから設定する	56
初めて使用する場合	22
発呼	26
発信者 ID	26
発呼と着呼	25, 29
発信者 ID	26
発着信の制限	30

## ふ

不応答呼	41
------	----

## ほ

ボイス メール	41
ボイス メール メッセージを受信する	41
ボイス メールについて	41
ボイスメールの管理	41
ポケット リファレンス カード	83

## め

メッセージング	
会社のボイス メール	41

## も

問題	59-64
Extension to Cellular は国外にいる間携帯電話で機能しません	59
FNE の間違い	61
一部の機能特番が機能しません	60
接続が失われます	59
着信呼を受けられません	60
発信者 ID が表示されません	61
発信側の発信者 ID が表示されません	59
ボイス メール メッセージが違うシステムへ送られます	62
問題の解決	59-64
FNE の間違い	61
一部の機能特番が機能しません	60
国外にいる間携帯電話で機能しません	59
接続が失われます	59
着信呼を受けられません	60
発信者 ID が表示されません	61
発信側の発信者 ID が表示されません	59
ボイス メール メッセージが違うシステムへ送られます	62

## ゆ

ユーザー アクセス コード	11
---------------	----

## よ

### 呼

管理	27
着信	25
発信	26
呼の管理	27
オフィスから携帯電話へ切り替える	29
携帯電話からオフィスの電話機へ切り替える	27
コール ウェイティング	27

## り

リコール FNE	71
----------	----



# Extension to Cellular ポケット リファレンス カード

このポケット リファレンス カードには、システム管理者から入手した情報を記入してください。カードを切り抜き、折り畳み、財布や携帯電話といっしょに保管してください。

このポケット リファレンス カードは <http://www.avaya.com/support> からダウンロード (Microsoft Word フォーマット) できます。また、ユーザーの用途に合わせてカスタマイズしてご利用ください。

 <p><b>Extension to Cellular (EC) ユーザーのポケット カード</b></p> <p>勤務先内線番号: _____</p> <p>EC アクセス #: _____</p> <p>EC 機能特番 (FAC) _____</p> <p>設定 FAC: _____</p> <p>解除 FAC: _____</p> <p>条件付呼拡張設定 FAC: _____</p> <p>条件付呼拡張解除 FAC: _____</p> <p>EC を設定または解除するには、次のように操作します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. EC アクセス番号をダイヤルします。</li> <li>2. 該当する FAC を入力してから、勤務先の内線番号を入力します。</li> <li>3. シャープ (#) を押し、内線セキュリティ コードを入力してから、シャープ (#) をもう一度押します。</li> <li>4. 確認トーンが聞こえます。</li> </ol> <p>FNE から機能にアクセスするには次のように操作します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 通話相手を保留にします。</li> <li>2. 別の回線表示で、必要な機能の FNE をダイヤルします。携帯電話を使用している場合、「SEND」を押します。</li> <li>3. 機能にアクセスできるようになりました。ダイヤルした機能に応じて、聞こえる音は異なります。</li> </ol>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">機能名拡張 (FNE)</th> </tr> <tr> <th>機能名</th> <th>拡張</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>アクティブ アピランス セレクト:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>自動コールバック:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>自動コールバック キャンセル:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>話中/不応答転送:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>転送キャンセル:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>不在転送キャンセル:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>コール パーク:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>コール パーク 応答:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>コール ピックアップ:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>コール ピックアップ拡張グループ:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>保留なしのカンファレンス:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>会議終了:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>発信番号ブロック:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>発信番号ブロック解除:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>条件付呼拡張設定:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>条件付呼拡張解除:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>指定されたコール ピックアップ:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>最後の参加者を切断:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>排他 (オンまたはオフをトグル):</td><td>_____</td></tr> <tr><td>保留状態アピランス セレクト:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>アイドル状態アピランス セレクト:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>直前にダイヤルした番号:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>マリシャス コールトレース (悪意呼追跡):</td><td>_____</td></tr> <tr><td>マリシャス コールトレース キャンセル:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>PBX 外呼 (Off-PBX Call) 設定:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>PBX 外呼 (Off-PBX Call) 解除:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>優先コール:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>リコール:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>離席機能:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>離席機能キャンセル:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>転送完了:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>ハンガアップによる転送:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>ボイス メールに転送:</td><td>_____</td></tr> <tr><td>ウィスパー ページ設定:</td><td>_____</td></tr> </tbody> </table>	機能名拡張 (FNE)		機能名	拡張	アクティブ アピランス セレクト:	_____	自動コールバック:	_____	自動コールバック キャンセル:	_____	話中/不応答転送:	_____	転送キャンセル:	_____	不在転送キャンセル:	_____	コール パーク:	_____	コール パーク 応答:	_____	コール ピックアップ:	_____	コール ピックアップ拡張グループ:	_____	保留なしのカンファレンス:	_____	会議終了:	_____	発信番号ブロック:	_____	発信番号ブロック解除:	_____	条件付呼拡張設定:	_____	条件付呼拡張解除:	_____	指定されたコール ピックアップ:	_____	最後の参加者を切断:	_____	排他 (オンまたはオフをトグル):	_____	保留状態アピランス セレクト:	_____	アイドル状態アピランス セレクト:	_____	直前にダイヤルした番号:	_____	マリシャス コールトレース (悪意呼追跡):	_____	マリシャス コールトレース キャンセル:	_____	PBX 外呼 (Off-PBX Call) 設定:	_____	PBX 外呼 (Off-PBX Call) 解除:	_____	優先コール:	_____	リコール:	_____	離席機能:	_____	離席機能キャンセル:	_____	転送完了:	_____	ハンガアップによる転送:	_____	ボイス メールに転送:	_____	ウィスパー ページ設定:	_____
	機能名拡張 (FNE)																																																																								
機能名	拡張																																																																								
アクティブ アピランス セレクト:	_____																																																																								
自動コールバック:	_____																																																																								
自動コールバック キャンセル:	_____																																																																								
話中/不応答転送:	_____																																																																								
転送キャンセル:	_____																																																																								
不在転送キャンセル:	_____																																																																								
コール パーク:	_____																																																																								
コール パーク 応答:	_____																																																																								
コール ピックアップ:	_____																																																																								
コール ピックアップ拡張グループ:	_____																																																																								
保留なしのカンファレンス:	_____																																																																								
会議終了:	_____																																																																								
発信番号ブロック:	_____																																																																								
発信番号ブロック解除:	_____																																																																								
条件付呼拡張設定:	_____																																																																								
条件付呼拡張解除:	_____																																																																								
指定されたコール ピックアップ:	_____																																																																								
最後の参加者を切断:	_____																																																																								
排他 (オンまたはオフをトグル):	_____																																																																								
保留状態アピランス セレクト:	_____																																																																								
アイドル状態アピランス セレクト:	_____																																																																								
直前にダイヤルした番号:	_____																																																																								
マリシャス コールトレース (悪意呼追跡):	_____																																																																								
マリシャス コールトレース キャンセル:	_____																																																																								
PBX 外呼 (Off-PBX Call) 設定:	_____																																																																								
PBX 外呼 (Off-PBX Call) 解除:	_____																																																																								
優先コール:	_____																																																																								
リコール:	_____																																																																								
離席機能:	_____																																																																								
離席機能キャンセル:	_____																																																																								
転送完了:	_____																																																																								
ハンガアップによる転送:	_____																																																																								
ボイス メールに転送:	_____																																																																								
ウィスパー ページ設定:	_____																																																																								

